



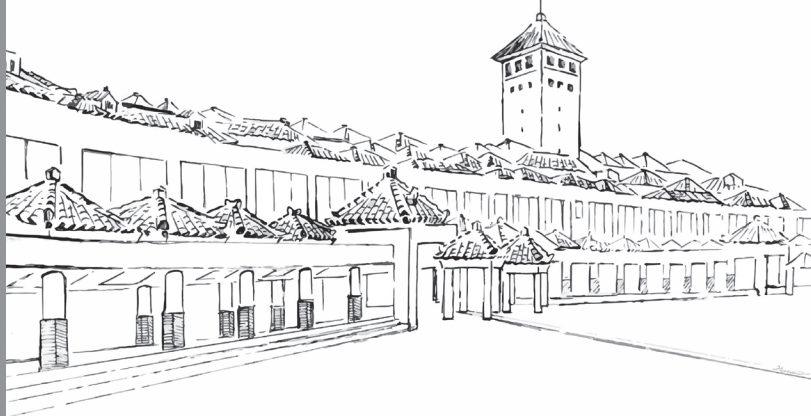
2021(令和3)年度

沖縄県平和祈念資料館年報

第22号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：令和3年度 第32回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門：小学校低学年の部

最優秀賞：「平和に生きる せかいの人々」

(せかいじゅうの人々がみんななかよくなっているのが平和だと思います。私も色々な国のことをして、友だちをつくりたいと思います。)

図画／那覇市立天久小学校3年 ちねん ゆい 知念 由依

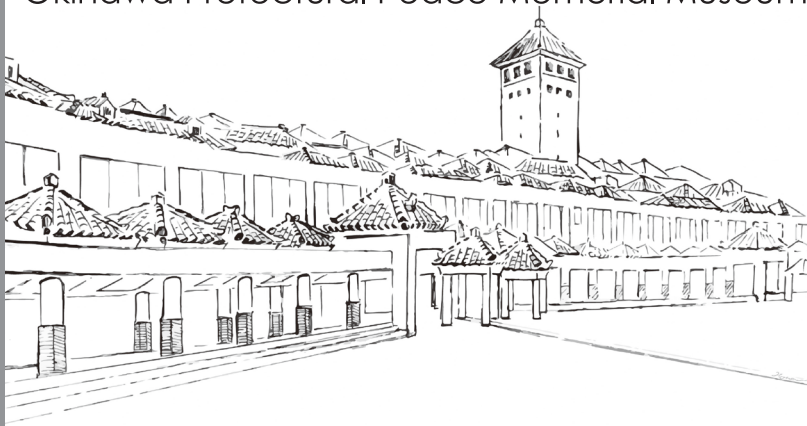
2021(令和3)年度

沖縄県平和祈念資料館年報

第22号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



はじめに

沖縄県平和祈念資料館では、開館以来、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代へ伝え、平和を求める「沖縄のこころ」を発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するため、様々な取組を行っています。

今年は、沖縄の日本復帰 50 年という節目の年であり、各地で「復帰」に関連した様々な行事が開催される中、戦後 77 年もの歳月が経過し、戦争を知らない世代が増える一方、沖縄戦体験者が年々減少し、今後どのように沖縄戦の記憶を次の世代へ継承していくのが、課題となっております。

2021（令和 3）年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令のため、121 日間の臨時休館となり、県外からの修学旅行生が減少するなどの影響を受けました。

そのような状況の中、「第 31 回児童・生徒の平和メッセージ」事業においては、県内 131 校から 2,942 点の応募があり、図画・作文・詩の3部門に 209 点の入賞作品が選ばれました。児童・生徒の作品は、いずれも平和な未来の姿を表現しようと試みる純粋さや、自分自身が考える平和、今の世の中が抱える問題などについて、創作活動を通して、しっかりと表現されており、県内外に広く発信され、多くの人に平和の尊さを伝えています。

特別企画展では、1937（昭和 12）年から 1945（昭和 20）年までの「戦時体制下の国民生活—戦時下の庶民のくらし—」をテーマに開催しました。ギャラリー展においては、「戦争マラリア—八重山諸島の沖縄戦—」「あの日の沖縄—戦前編」等を開催し、県民の収容所の暮らしや、復興の様子を紹介しました。新収蔵品展では、2019（令和元）年～ 2020（令和2）年度にかけて寄贈いただいた資料について、戦前・戦中・戦後の時代ごとにわけて展示したところです。

子ども・プロセス展では、「戦時下の子どもたち—小学校から国民学校へ—」「沖縄戦をとらえた 100 枚の写真」「太平洋戦争と沖縄県の学童疎開—家族との再会を夢見て—」「切り離された沖縄—クイズで学ぶ 27 年間の米軍統治—」など、日本復帰 50 年に関連する展示を開催しました。特に、戦後の米国による 27 年間の統治という特異な歴史については、子どもに理解しやすいよう、クイズを活用し、歴史に興味を持つような工夫を行いました。

八重山平和祈念館では、「戦世の始まりから未来の平和世を考える～戦争は突然やってこない～」をテーマにし、社会は過去から現在、未来へと繋がっていることを実感し、平和な未来を考えてもらう機会を提供する企画展を開催しました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用していただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子を広くご活用いただければと思います。

2022（令和 4）年 8 月

沖縄県平和祈念資料館
館長 前川 早由利

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念
はじめに

I 概要	
1 沿革	1
2 日誌（抄）2021（令和3）年度	6
3 施設	9
4 組織	12
5 2021（令和3）年度歳入歳出決算（本館及び分館）	17
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	18
II 調査研究事業	
1 第28回日本平和博物館会議	19
III 展示企画事業	
1 常設展	20
2 企画展	22
(1) 特別企画展「戦時体制下の国民生活 制限下の庶民の暮らし」	22
(2) 子ども・プロセス企画展	23
(3) ギャラリー展	25
IV 資料収集・活用事業	
1 新収蔵品目録	
(1) 実物資料	27
(2) 図書資料・購入図書	27
2 資料貸出実績	39
(1) 資料の貸出	39
(2) 証言映像の貸出	41
3 撮影・掲載等利用一覧	42
V 教育普及事業	
1 教育普及事業	
(1) 第31回「児童・生徒の平和メッセージ」事業	47
(2) 子どもの日（5月5日）・慰霊の日（6月23日）親子ビデオ上映会（中止）	49
(3) 夏休み子ども向け企画（中止）	49
2 教育機関等との連携	
(1) 平和講話	50
(2) 離島・遠隔地講師派遣事業	50
(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）の受け入れ（中止）	50
(4) 沖縄少年院連携事業	51
(5) 大学との連携事業	51
(6) 博物館学芸員実習の受け入れ	51
(7) 教員向け平和講話等利用案内説明会	51
(8) 大人のための平和学習（入門編）	51
(9) 資料館講習会	51

I
概

要

II
事
調
査
研
究
業
務

III
事
展
示
企
画
業
務

IV
活
用
事
業
・
資
料
収
集

V
事
教
育
普
及
業
務

VI
出
広
報
活
動
等
・
版
活
動

VII
事
そ
の
他
業
務

VIII
入
館
者
状
況

IX
祈
八
重
山
平
和
祈
念
館

X
活
友
動
の
報
告
会

XI
規
則
・
要
綱
・
条
例

XII
入
館
度
状
況
別

3	講座・講習会・研修会	
(1)	県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会	52
(2)	県立学校初任者研修	52
(3)	島尻教育事務所 中堅教諭等資質向上研修（中止）	53
(4)	幼稚園・認定こども園初任者研修	53
(5)	那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修	53
(6)	島尻教育事務所 初任者研修	53
(7)	養護教諭初任者研修	53
(8)	JICA国別研修平和教育における現職教員研修〔対象国：コロンビア〕	53
(9)	沖縄県平和祈念資料館講習会	54

VI 広報活動・出版等

	刊行物	55
--	-----	----

VII その他の事業

1	沖縄平和啓発プロモーション事業	56
2	「平和への思い」発信・交流・継承事業	58
3	学芸員人材育成事業	60

VIII 入館者状況

1	月別入館者数	61
2	年度別入館者数	62
3	月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況	63
4	市町村別団体入館者数	64
5	都道府県別団体入館者数	65

IX 八重山平和祈念館

1	概要	67
2	施設	69
3	事業概要	71
4	新型コロナ対策による臨時休館状況	74

X 沖縄県平和祈念資料館 友の会

1	活動紹介	75
2	申込方法	75
3	申込条件	75
4	講話・ガイド活動状況	75
5	活動内容	76

XI 関係条例・規則・要綱

1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	77
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	80
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	86
4	沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	87

XII 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

106

I 概要

1 沿革

〔沖縄県立平和祈念資料館〕(旧館)

1972(昭和47)年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974(昭和49)年に鉄筋コンクリート2階建て(延床面積1,003㎡)の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975(昭和50)年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000(平成12)年3月31日に閉館。

〔沖縄県平和祈念資料館〕(新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000(平成12)年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

〔歴代館長〕

外間盛治	2000(平成12)年4月～2002(平成14)年3月
阿波根昌安	2002(平成14)年4月～2003(平成15)年3月
島袋記美子	2003(平成15)年4月～2005(平成17)年3月
川満茂雄	2005(平成17)年4月～2007(平成19)年3月
宮城智子	2007(平成19)年4月～2009(平成21)年3月
大川芳子	2009(平成21)年4月～2011(平成23)年3月
呉屋禮子	2011(平成23)年4月～2013(平成25)年3月
上與那原美和子	2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月
國仲功	2014(平成26)年4月～2016(平成28)年3月
原田直美	2016(平成28)年4月～2019(平成31)年3月
外間裕朋	2019(平成31)年4月～2021(令和3)年3月
雉鼻章郎	2021(令和3)年4月～2022(令和4)年3月
前川早由利	2022(令和4)年4月～

〔主な事項〕

1993(平成5)年	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体(商工美術(株)(株)沖縄ノムラ)と締結
1994(平成6)年	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1995(平成7)年	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1996(平成8)年	3月28日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞 team DREAM に決定
	6月25日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)展示設計プロポーザル競技により(株)乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館(仮称)監修委員会開催
1997(平成9)年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
1998(平成10)年	3月17日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催(巡回展、講演会)

1999 (平成 11) 年	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
2000 (平成 12) 年	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館
	4月1日	開館 (一般公開開始まる)
	5月28日	入館者 10 万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催:広島市、長崎市 (~ 27 日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催 (~ 23 日) ビル・クリントン アメリカ合衆国大統領「平和の礎」訪問
2001 (平成 13) 年	3月30日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
	4月25日	入館者 50 万人達成
2002 (平成 14) 年	10月18日	入館者 100 万人達成
2003 (平成 15) 年	12月11日	入館者 150 万人達成
2004 (平成 16) 年	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
	7月24日	第 1 回ボランティア養成講座開始 (~ 12 月 18 日) 平成 18 年度まで
2005 (平成 17) 年	4月7日	入館者 200 万人達成
2006 (平成 18) 年	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者 250 万人達成
2007 (平成 19) 年	6月21日	ミュージアムショップ開店 (運営: 沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者 300 万人達成
2008 (平成 20) 年	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者 350 万人達成
2009 (平成 21) 年	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業 (~ 2012 年 3 月)
	11月18日	入館者 400 万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備 (英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え (~ 3 月 31 日)
2010 (平成 22) 年	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え (~ 3 月 19 日)
	4月1日	情報ライブラリー等管理業務委託開始 (~ 2012 年 3 月 31 日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託 (~ 2012 年 3 月 31 日)
	7月27日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
2011 (平成 23) 年	2月3日	入館者 450 万人達成
	10月20日	人数カウンター設置工事開始 (~ 10 月 30 日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立 トゥール・スレン虐殺博物館にて開催

2012 (平成 24) 年	5月28日 7月13日 12月1日	入館者 500 万人達成 「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(～ 2012 年 3 月 27 日) 沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (～ 2015 年 3 月)
2013 (平成 25) 年	10月29日	入館者 550 万人達成
2014 (平成 26) 年	2月12日 2月7日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館 入館者 600 万人達成
2015 (平成 27) 年	10月10日 10月16日	デービッド・イゲ ハワイ州知事来館 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 J I C A 理事長賞受賞
2016 (平成 28) 年	3月1日 6月15日 7月	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始 入館者 650 万人達成 沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※ JICA 草の根技術協力事業 (～ 2017 年 6 月)
2017 (平成 29) 年	4月19日 11月9日 11月13日	李俊揆 (イ ジュンギユ) 駐日大韓民特命全権大使視察 入館者 700 万人達成 ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018 (平成 30) 年	6月22日 7月20日	韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館 ハリール・アルムーサウイー駐日イラク大使視察
2019 (令和 1) 年	4月20日 12月28日	入館者 750 万人達成 マハティール・ビン・モハマド首相 (マレーシア) 視察
2020 (令和 2) 年	10月17日 12月10日	戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式 ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察
2021 (令和 3) 年	3月31日 4月1日 7月29日	ミュージアムショップ閉店 (運営: 沖縄県平和祈念財団) 学芸員新規採用 キャロリン・グラスマン広報・文化交流担当公使視察
2022 (令和 4) 年	3月31日	喫茶室閉店 (運営: 沖縄県平和祈念財団)

I
概

要

II
事
調
査
研
究
業
務III
事
展
示
企
業
画IV
活
資
料
収
集
業
務V
事
教
育
普
業
及VI
出
広
報
版
活
動
等VII
事
そ
の
他
業
務VIII
入
館
者
状
況IX
祈
八
重
念
山
平
和
館X
活
友
動
の
報
告
会XI
規
則
係
要
綱
・
要
例
・
要
綱XII
入
館
度
状
況
別

[主な企画展等、その他催し]

- 2000 (平成 12) 年度 第 1 回 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、第 1 回 ミニ企画展「子どもたちと沖縄戦」
- 2001 (平成 13) 年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展 (4 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会 (2 回)
- 2002 (平成 14) 年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展 (4 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003 (平成 15) 年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展 (4 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004 (平成 16) 年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展 (4 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005 (平成 17) 年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展 (3 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006 (平成 18) 年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (4 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007 (平成 19) 年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世 (イクサ) の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座 (2 回)
- 2008 (平成 20) 年度 特別企画展「カンポークエヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009 (平成 21) 年度 特別企画展「イクサユーンワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!! 平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010 (平成 22) 年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭 2010」(20 回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NAHA マラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011 (平成 23) 年度 特別企画展『「アメリカ世の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012 (平成 24) 年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展

2013 (平成 25) 年度	特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
2014 (平成 26) 年度	特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回)、沖縄県平和祈念資料館講習会沖縄戦講座「日系二世ウチナンチュが見た戦中・戦後」、「平成 26 年度子や孫につながる平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーストーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
2015 (平成 27) 年度	特別企画展『ウチナンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』 児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展 (5 回) 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会 企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展 (平成 25 年度・26 年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後 70 年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
2016 (平成 28) 年度	特別企画展『ウチナンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満洲国』～』 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 5 カ所、国外 1 カ所) 子ども・プロセス企画展 (5 回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」 沖縄県平和祈念資料館講習会
2017 (平成 29) 年度	特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やししが～』 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 5 カ所、国外 1 カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化－文化財と芝居の視点から－」、企画展「新収蔵品展 (平成 27 年度・28 年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5 回)、子ども・プロセス企画展 (5 回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、第 2 4 回日本平和博物館会議 (当館開催)
2018 (平成 30) 年度	特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 4 カ所、国外 1 カ所) 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」 新企画展「ギャラリー展」(4 回) 子ども・プロセス企画展 (4 回) 沖縄県平和祈念資料館講習会
2019 (令和 1) 年度	特別展「武田美通・鉄の造形 30 作品展 戦死者たちからのメッセージ」 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 5 カ所) ギャラリー展 (4 回) 子ども・プロセス企画展 (4 回)
2020 (令和 2) 年度	戦後 75 年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」 特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～ 1944-1945」 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 3 カ所) ギャラリー展 (4 回) 子ども・プロセス企画展 (4 回) 沖縄県平和祈念資料館講習会
2021 (令和 3) 年度	特別企画展「戦時体制下の国民の生活」～制限下の庶民の暮らし～ 企画展「新収蔵品展 (令和元年度・2 年度寄贈)」 児童・生徒の平和メッセージ展 (県内 4 カ所) ギャラリー展 (3 回) 子ども・プロセス企画展 (4 回) 沖縄県平和祈念資料館講習会

I
概

要

II
事
調
査
研
究
業
務III
事
展
示
企
業
画IV
活
資
料
収
集
業
務V
事
教
育
普
及
業
務VI
出
広
報
活
動
等VII
事
そ
の
他
業
務VIII
入
館
者
状
況IX
祈
八
重
念
山
平
和
館X
活
友
動
の
報
告
会XI
規
則
係
条
例
・
要
綱XII
入
年
館
度
状
況
別

2 日誌 (抄) 2021 (令和3) 年度

- 4月5日 平和講話等利用説明会
5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会 (中止)
5月6日 県立学校初任者研修
5月7日 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修 (データ受け渡し)
5月16日 大学連携事業 (当館及び平和祈念公園内)
5月18日 第1回ギャラリー展 (~ 10月12日)
「戦争マラリア - 八重山諸島の沖縄戦 -」
5月23日 臨時休館 (新型コロナウイルス緊急事態宣言 ~ 7月11日)
6月10日 幼稚園・認定こども園初任者研修 (オンライン研修)
6月23日 慰霊の日に係る常設展示室無料公開 (開館時間延長なし)
〃 慰霊の日ビデオ上映会 (中止)
〃 児童・生徒の平和メッセージ展 (当館) (中止)
7月14日 児童・生徒の平和メッセージ展 (石垣市) (~ 22日)
7月21日 友の会学習会 (祈念公園・祈念ホール)
7月22日 臨時休館 (新型コロナウイルス緊急事態宣言 ~ 9月30日)
7月26日 那覇教育事務所初任者及び中堅教諭等資質向上研修 (オンライン研修)
7月27日 島尻教育事務所初任者研修 (データ受け渡し)
7月28日 養護教諭初任者研修
〃 地下収蔵庫等燻蒸 (~ 7月29日)
7月29日 在沖米総領事広報課展示案内
〃 キャロリン・グラスマン広報・文化交流担当公使視察
〃 八重瀬町教育委員会・与那原町教育委員会中堅教諭資質向上研修
7月30日 児童・生徒の平和メッセージ展 (宮古島市) (~ 8月5日)
8月1日 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】 (中止)
〃 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】 (中止)
8月7日 平和アニメ上映会 (中止)
8月8日 親子で学ぶ沖縄戦 (講話・常設展示室見学) (中止)
8月9日 親子平和フィールドワーク (平和祈念公園内) (中止)
8月25日 学芸員実習【沖国大1名、安田女子大1名】 (~ 9月1日)
9月8日 友の会主催平和公園内フィールドワーク
〃 児童・生徒の平和メッセージ展 (名護市) (中止)
9月29日 児童・生徒の平和メッセージ展 (那覇市) (~ 10月11日)
10月1日 第1回子ども・プロセス企画展 (~ 10月31日)
「沖縄戦をとらえた100枚の写真」
10月8日 特別企画展 (~ 12月19日)
「戦時体制下の国民の生活」 ~ 制限下の庶民の暮らし ~
10月15日 第2回ギャラリー展 (~ 2月15日)
「あの日の沖縄 - 戦前編 -」
10月24日 大人のための平和学習 (入門編)
10月27日 防災訓練 (当館、財団、祈念堂)
11月1日 日本平和博物館会議 (オンライン会議)
11月10日 第2回子ども・プロセス企画展 (~ 2月20日)
「太平洋戦争と沖縄県の学童疎開 - 家族との再会を夢見て -」

- 11月13日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式（当館）
- 11月20日 第16回 沖縄県平和祈念資料館友の会定期総会
- 11月22日 「平和への思い」発信・交流・継承事業 共同学習（～11月28日）
- 11月27日 「平和への思い」発信・交流・継承事業 成果報告会（沖縄空手会館）
- 11月28日 大人のための平和学習（入門編）
- 12月9日 沖縄県平和祈念資料館運営協議会
- 12月29日 ～1月3日（休館日）
- 1月13日 児童・生徒の平和メッセージ展優秀作品展示（～2月20日）
- 2月25日 第3回ギャラリー展（～5月12日）
「あの日の沖縄 - 戦後編 -」
- 3月1日 第3回子ども・プロセス企画展（～5月22日）
「切り離された沖縄 - クイズで学ぶ27年間の米軍統治 -」
- 3月15日 沖縄県平和祈念資料館講習会



沖縄県平和祈念資料館と平和の火

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 事 業
- V 事 教 育 普 業 及
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 関 係 条 例 ・ 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別



沖縄県平和祈念資料館の建物のかたちは、沖縄の伝統的な赤瓦屋根の集落をイメージしたものです。

3 施設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 〃

展示工事費 1,535 〃

展示設計費 126 〃

情報システム 171 〃

その他 404 〃

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 〃

子ども・プロセス展示室 518 〃

情報ライブラリー 472 〃

平和祈念ホール 245 〃

海と礎の回廊 256 〃

会議室 200 〃

一般収蔵庫 1,201(1F、2F) 〃

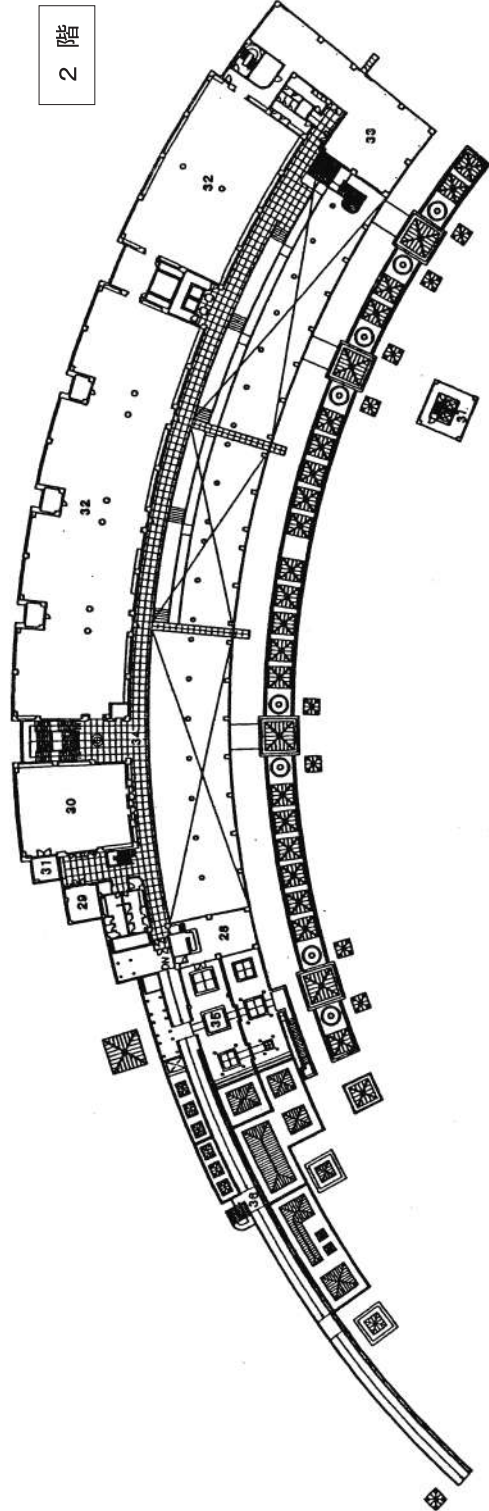
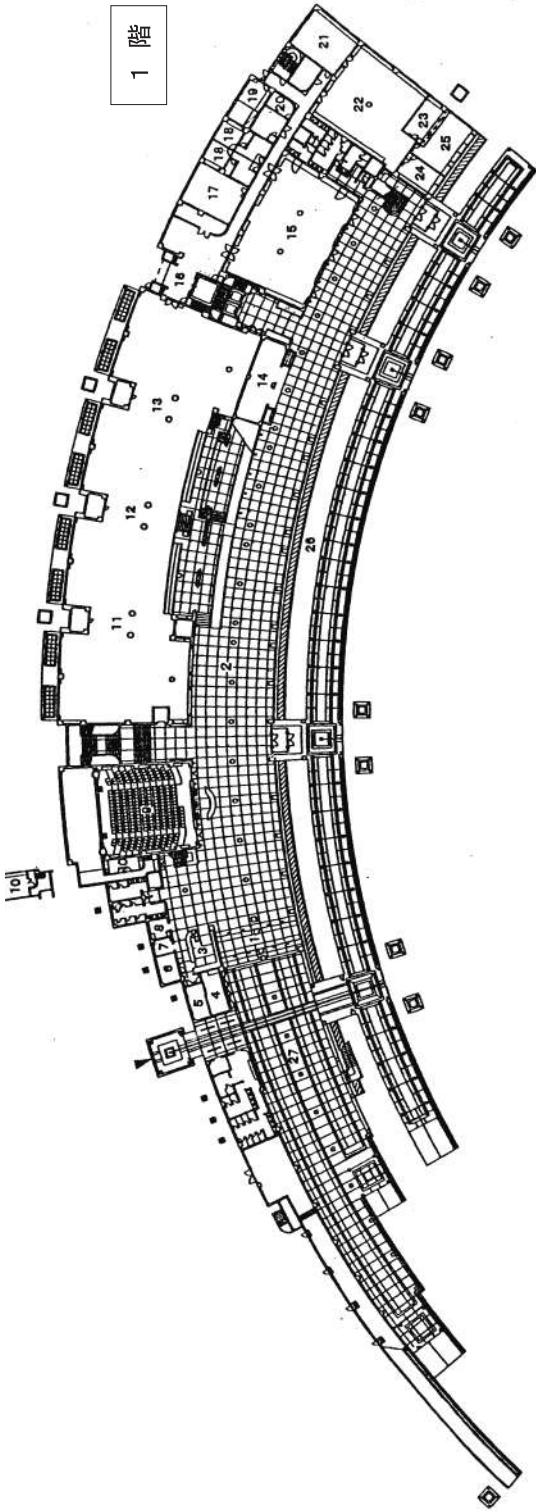
特別収蔵庫 281(1F、2F) 〃

- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 (旧ミュージアムショップ)(28㎡)
- 4 事務スペース・倉庫
- 5 ボランティア室
- 6 授乳・救護室
- 7 自販機室
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

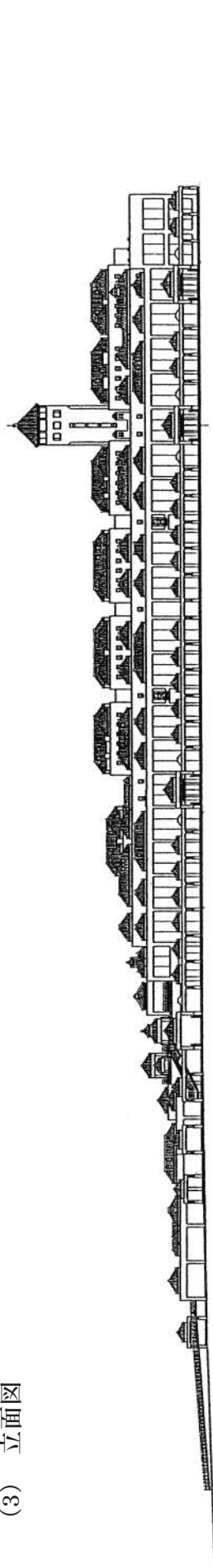
1階 s = 1/700

- 28 (旧喫茶室)(86㎡)
- 29 事務スペース・倉庫
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32 A常設展示室 1~4(957㎡)
- 32 B常設展示室 5(403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2階 s = 1/700

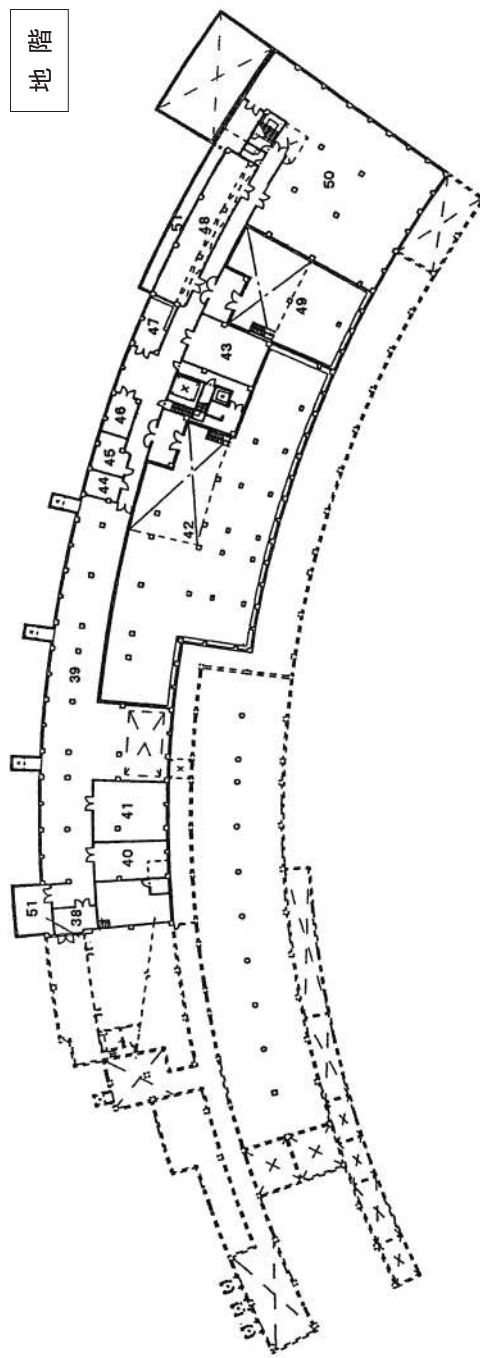


(3) 立面図



南側立面図 S=1/700

(4) 平面図



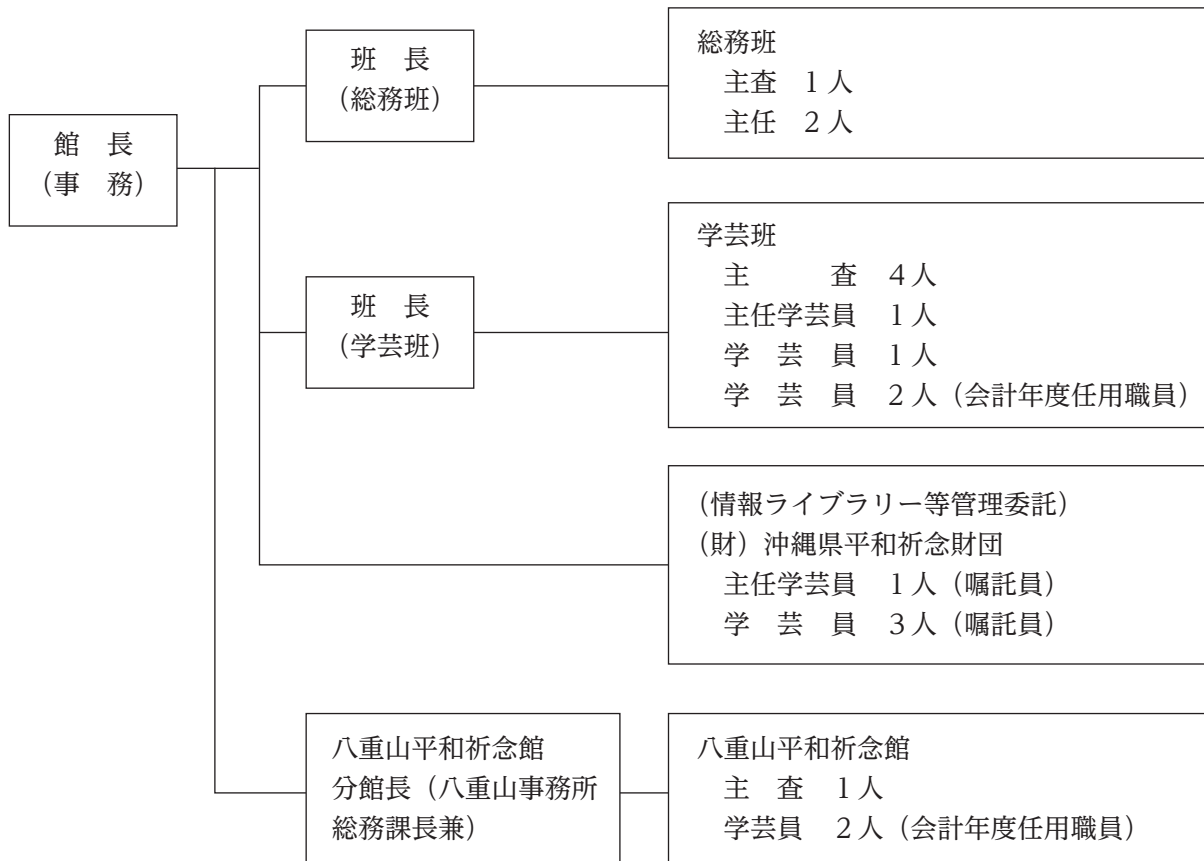
北側立面図 S=1/700

- 38 消防ポンプ室
- 39 機械室 (426㎡)
- 40 発電室
- 41 電気室
- 42 一般収蔵庫 (1F=658㎡、2F=543㎡)
- 43 仮置き場倉庫 (60㎡)
- 44 メンテナンス室
- 45 ボンベ室
- 46 くん蒸室
- 47 写真撮影室 (25㎡)
- 48 資料調査研究室 (95㎡)
- 49 特別収蔵庫 (1F=186㎡、2F=95㎡)
- 50 機械室 (415㎡)
- 51 ドライエリア

地下 s=1/700

4 組 織

(1) 機構 2021（令和3）年4月1日現在



* その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付（3人） 警備（2人） 清掃（2人） 機械設備管理（1人）

(2) 職員構成 2021（令和3）年4月1日現在

職名	担当業務
館長	資料館業務の総理に関すること

総 務 班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	担 当 業 務
班 長 (出納員)	<p>総務班業務の総括に関する事項 平和祈念資料館中長期計画の進捗に関する事項（総務関連） 個別施設計画の進捗（R4年度改修工事含む）に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、 金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 労働・安全衛生に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項</p>
主 査	<p>給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 団体入館及び会議室等予約に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 職員の健康管理に関する事項 その他庶務会計に関する事項</p>
主 任	<p>委託料（施設管理、中央監視、情報システム、映像・音響）に関する事項 修繕料に関する事項 工事請負費（上水及び電源装置を除く）に関する事項 団体入館及び会議室等予約（サインージ入力含む）に関する事項 電子申請予約への対応に関する事項 入館者の日報月報等統計業務に関する事項 音響・映像機器（音声がダンス含む）の管理に関する事項 リーフレットの印刷・送付に関する事項 拾得物に関すること 情報システム運用に関する事項 総合案内等の出版（増刷）等許諾契約に関する事項 その他庶務・会計に関する事項</p>
主 任	<p>出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約及び会議室等予約に関する事項 電子申請予約への対応に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料（施設管理、中央監視、情報システム、映像・音響を除く）に関する事項 個別施設計画に関する事項 修繕料に関する事項（副） 工事請負費（浄水及び電源装置）に関する事項 情報システム等機器のリースに関する事項 受付システムの更新に関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項</p>

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名		担当業務
班長 (総括)		学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 予算・決算・議会対応の総括に関する事項 (学芸的事項) (主) 学芸員人材育成事業の総括に関する事項 (主) 「復帰 50 周年記念事業 PT」 総括に関する事項 (主) 運営協議会総括に関する事項 (主) 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り (主) 沖縄県平和祈念資料館中長期計画に関する事項 (主) 常設展示室のリニューアルに関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 消防防災に関する事項 (副) 「平和への思い」 発信・交流・継承事業 (副) 「戦後の戦争体験者証言映像収録・公開事業」 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査		「戦後の戦争体験者証言映像多言語編集及び WEB 公開事業」 (主) 展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項 (主) 「復帰 50 周年記念事業 PT」 証言収録に関する事項 (主) 常設展示室 (第 5 及び屋外) の管理運営に関する事項 (主) 英語に関する業務 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査		児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 少年院連携事業に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 情報化推進に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 常設展示 (子どもプラス展示室) の管理運営に関する事項 (主) 平和講話に関する事項 (共) 運営協議会総括に関する事項 (副) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査		「平和の思い」 発信・交流・継承事業 (主) 広報に関する業務 (主) 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項 (主) キャリア教育 (職場体験・インターンシップ) に関する事項 (主) 日本平和博物館会議 (主) 平和のための博物館国際ネットワーク (主) 常設展示室 (第 1・2 室) の管理運営に関する事項 (主) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共) 英語に関する業務

職 名		担 当 業 務
主 査		証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 収蔵品展・ミニ企画展（主） 千羽鶴の受理に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主） 常設展示（第3・4室）の管理に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（副） 情報化推進に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
学芸員		学芸員人材育成事業研修（研修者） 特別企画展の企画・立案に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 「復帰50周年記念事業PT」特別企画展に関する事項（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） 特別講座に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 収蔵品展・ミニ企画展（副） その他学芸業務に関する事項（共）
主任学芸員 (再) (フルタイム)		八重山平和資料館との連携に関する事項（主） 「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 「年報」の発行に関する事項（主） 収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 館内広報に関する業務（主） 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項（副） 「戦後の戦争体験者証言映像収録・公開事業」(副) 「復帰50周年記念事業PT」証言収録に関する事項（副） 「復帰50周年記念事業PT」特別企画展に関する事項（副） その他学芸業務に関する事項（共）
会計年度 任用職員 (学芸員)		ギャラリー展に関する事項（主） 用職員展示活動の企画・準備・実施に関する事項（副） 資料・収蔵品の登録・整理・管理に関する事項 HPの更新に関する事項 質問照会の回答担当に関する事項（副） その他学芸業務の補助に関する事項 ・館内事業案内掲示など広報等に関する事項 ・沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 その他上司の命に関する事項

八重山平和祈念館

職名	担当業務
分館長	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主査	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
会計年度 任用職員	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

委 託 (沖縄県平和祈念財団)

職名	担当業務
嘱託員 (主任学芸員)	学芸員人材育成事業研修 (指導員) 施設の設備の管理、施設の図書資料等の管理 子ども・プロセス企画展の開催、施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言
嘱託員 (学芸員)	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項

5 2021（令和3）年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	不用品売却代	合計
資料館 観覧料	10,271,945	0	0	0	10,271,945
本館	10,149,800				10,149,800
分館	122,145				122,145
資料館 使用料	0	127,660	0	0	127,660
本館		127,460			127,460
分館		200			200
建物 使用料	0	0	39,547	0	39,547
本館			39,547		39,547
分館					0
建物貸付料（本館）			250,250		250,250
寄附金					0
雑入（本館）			271,820		271,820
合計	10,271,945	127,660	561,617	0	10,961,222
本館	10,149,800	127,460	561,617	0	10,838,877
分館	122,145	200	0	0	122,345

歳出

単位：円

科目	管理運営事業	展示活動事業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	学芸員人材育成事業	合計
報酬	74,400	8,243,520	0	0	8,317,920
本館	74,400	4,910,400			4,984,800
分館	0	3,333,120			3,333,120
職員手当	0	1,584,867	0	0	1,584,867
本館		912,691			912,691
分館		672,176			672,176
報償費	20,800				20,800
旅費	93,480	650,530	10,000	0	754,010
本館	44,840	585,960	10,000		640,800
分館	48,640	64,570			113,210
需用費	29,988,864	425,435	0	0	30,414,299
本館	28,223,262	388,115			28,611,377
分館	1,765,602	37,320			1,802,922
役務費	1,492,270	0	0	0	1,492,270
本館	1,399,561				1,399,561
分館	92,709				92,709
委託料	79,714,425	15,914,819	26,436,442	2,205,000	124,270,686
本館	78,386,901	15,914,819	26,436,442	2,205,000	122,943,162
分館	1,327,524				1,327,524
使用料及び賃借料	4,368,604	0	0	0	4,368,604
本館	4,361,568				4,361,568
分館	7,036				7,036
工事請負費	21,726,100				21,726,100
備品購入費	88,330				88,330
本館	54,450				54,450
分館	33,880				33,880
負担金補助及び交付金	10,000				10,000
合計	137,577,273	26,819,171	26,446,442	2,205,000	193,047,886
本館	134,301,882	22,711,985	26,446,442	2,205,000	185,665,309
分館	3,275,391	4,107,186	0	0	7,382,577

I 概
要
II 事調
査研
業究
III 事展
示企
業画
IV 活資
用事
業集
V 事教
育普
業及
VI 出広
報報
版活
動等
VII 事そ
の他
業の
VIII 入
館者
状況
IX 祈八
重山
平和
X 活友
動の
報告
会
XI 規関
係条
例・
要綱
XII 入
年館
度状
況別

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

任期：2019（平成31/令和元）年12月18日～2021（令和3）12月17日

区分	役職名	氏名	現職名
学識経験者	会長	當眞 嗣一	沖縄考古学会顧問
教育関係者	副会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	委員	安里 英子	ライター（元沖縄大学非常勤講師）
	委員	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部 名誉教授
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長（保育園園長）
	委員	平良 正栄	元豊見城教育委員会指導主事
公募	委員	大城 貴代子	おきなわ女性財団理事長
	委員	出井 香	自営業（元公立小学校教諭）

(2) 八重山平和祈念館 部会委員名簿

区分	役職名	氏名	現職名
教育関係者	副会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部 名誉教授

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動

① 2021（令和3）年度 運営協議会 12月9日（木） 14:00～15:30

日時：2021年（令和3）12月9日（木） 14:00～15:30

場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：資料館の運営に関する重要事項について協議を行った。沖縄戦研究者や教育関係者、県民の代表の意見を集約し、県民に親しまれ、誇れる資料館運営に努める。

議題：①沖縄県平和祈念資料館 2021（令和3）年度事業報告

②沖縄県平和祈念資料館 2022（令和4）年度事業計画（案）について

③八重山平和祈念館 2021（令和3）年度事業報告

④八重山平和祈念館 2022（令和4）年度事業計画（案）について

② 2021（令和3）年度 八重山平和祈念館部会

日時：2021年（令和3）8月 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：当館の分館としての八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について協議する。



運営協議会の様子

II 調査研究事業

1 第28回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1994年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

2021（令和3）年度は、広島平和記念資料館が事務局を担当した。11月1日（月）～2日（火）に広島平和記念資料館にて開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に引き続き通常の形での開催は見送り、オンラインで討議になった。

- (1) 期間：2021（令和3）年11月1日（月）
- (2) 開催場所：オンライン討議
- (3) 参加博物館
 - ①埼玉県平和資料館（埼玉県） ②川崎市平和館（神奈川県）
 - ③立命館大学国際平和ミュージアム（京都府） ④ピースおおさか（大阪府）、
 - ⑤広島平和記念資料館（広島県） ⑥長崎原爆資料館（長崎県）
 - ⑦沖縄県平和祈念資料館（沖縄県） ⑧神奈川県立地球市民かながわプラザ（神奈川県）
 - ⑨ひめゆり平和祈念資料館（沖縄県）
- (4) 開催までの流れ
 - 8月16日 開催館より開催方法についてのアンケートを各館に送信
 - 9月3日 開催館より開催方法についてのアンケートの集計結果を各館に送信
（書面4/通常通り1/書面とオンライン4/その他1
（通常開催が難しい場合は書面とオンライン）
 - 9月3日 開催通知（書面とオンライン）、参加申込書、
協議題・聴取事項アンケートを各館に送信
 - 9月17日 参加申込書提出締切、協議題・聴取事項アンケート回答締切
 - 9月28日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答依頼
 - 10月15日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答締切
 - 11月1日 第28回日本博物館会議開催（オンライン）
- (5) 定例会（オンライン会議）次第

2021（令和3）年11月1日（月）定例会
受付 13:15～13:30（於：Zoom）
定例会 13:30～15:30（於：Zoom）

 - (1) 事務局館挨拶 広島平和記念資料館 副館長 豆谷利宏
 - (2) Zoom 機能説明
 - (3) 出席館紹介
 - (4) 議長選出
 - (5) 議事
 - 協議題1 「コロナ禍での学校に対するサポートについて」
 - 協議題2 「オンライン平和学習について」
 - 協議題3 「コロナ後の平和博物館の財政的困難に対する打開策について」
 - 聴取事項について報告（抜粋）
 - ・戦争について未習の子どもたちへどう、戦争を伝えているか
 - ・「平和を構築する主体者を育てる」という目的に向けておこなっている工夫点
 - ・戦争体験談を記録として残す活動について・展示ガイドに向けた研修について
 - ・オンラインを活用した取組みの実施について・寄贈の問合せや受入れ状況について
 - ・資料の受入れに係る他館との連携について、各館の資料の収蔵基準や収蔵スペースの確保について・博物館学芸員実習の状況について・学芸員の配置について

次回開催館の紹介
その他

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヵ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。



第1展示室



第2展示室



第3展示室

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校のように、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。(平成22年)
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。(平成22年)
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成27年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データを英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、に翻訳した。(平成27年度)
- ⑦デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)
- ⑧第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)



第4展示室



第5展示室



情報ライブラリー

2 企画展

(1) 第20回特別企画展

「戦時体制下の国民生活 — 制限下の庶民の暮らし — 」

期 間：2021（令和3）年10月8日（金）～12月19日（日）

観覧者数：7481人

2021（令和3）年度の特別企画展は、日中戦争が始まった昭和12年から太平洋戦争終戦に至る昭和20年までの「戦時体制下の国民生活」を大テーマに、戦時体制に至るまでの経緯、国威発揚と戦意高揚、統制下の国民生活と戦争協力、国民防空の様相について4つのテーマに分け、最後に米軍上陸前の沖縄の状況を紹介して展示しました。

「1 戦時体制に至るまで」では、戦時体制に至るまでの経緯として、当時の日本が置かれた世界情勢や成人男性に課せられた兵役義務、満州事変や日中戦争の発生、そして国家総動員法の制定によって戦時体制に突入していく経緯を概観した。

「2 国威発揚と戦意高揚」では、日本が外国に対して日本の良いイメージや国力を宣伝するために実施した国威発揚の状況、国民の戦争への協力や愛国心を高めるために実施された戦意高揚の様子、また情報統制により軍にとって都合の悪い情報が隠蔽・改ざんされて国民に伝えられた状況を紹介した。

「3 統制下の国民生活と戦争協力」では、戦争の影響で日用品が不足したことにより国民が生活面で様々な統制を受けた状況、そして戦費捻出のための国債等の購入の強制、金属の供出や勤労動員などで国民が戦争協力を強いられた状況を紹介した。

「4 国民防空」では、一般国民による防空活動が法制化されたことで、敵機の監視や防空壕の設置、そして空襲時の消火活動が国民の義務となり、空襲からの避難が禁止された状況などを紹介した。

「5 アメリカ軍上陸前の沖縄における県民の総動員」では、臨戦態勢となった沖縄での総動員体制の状況について、証言を中心に紹介した。

また、各テーマで紹介した展示資料のうち特徴的な書籍・冊子については複製品を作成し、閲覧できるコーナーを設けた。

来館者からは、「昔の写真や物が見られて良かった（12歳／国頭村）」「日の丸寄せ書きの一つ一つの言葉から、当時の戦争に対する意識がわかったような気がします。（17歳／うるま市）」「資材不足で変わっていく硬貨や紙幣の変遷が興味深い（69歳／那覇市）」「学校の授業で、戦争の時の様子は聞いていたが、展示を見てより細かく深く歴史に触れられた気がした。（17歳）」「当時、陶器製の水筒があったことを知らなかった。驚きました。（40歳／東京都）」などの感想が寄せられた。



展示の様子



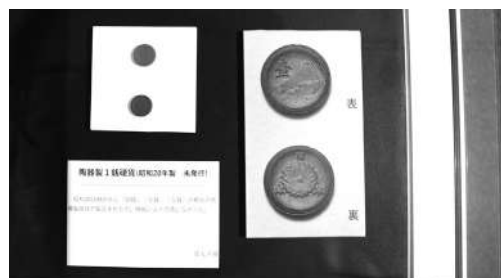
日の丸寄せ書き



アルミ製水筒



紙芝居『玉砕軍神部隊』



硬貨の変遷：陶器製1銭硬貨

(2) 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄戦をとらえた100枚の写真」

アメリカ軍が撮影した多数の沖縄戦記録写真から、戦闘の状況や住民の被害の状況などが写された写真100枚を選び紹介しました。写真に記録された沖縄戦の様々な場面と向き合い、76年前に沖縄で実際に起こった出来事を、目で見て感じ取れるようにしました。激しい戦いのなかで傷つき、追いつめられていった人々の姿を通して、子どもたちが戦争の実相について考える機会としました。

期 間：2021（令和3）年7月12日（月）～20日（火）
10月1日（金）～31日（日）

観覧者数：3,073人



展示の様子



ポスター

第2回「チャレンジ！夏休み自由研究－沖縄戦について調べてみようー」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行います。情報ライブラリー内に、自由研究学習コーナーを設置して、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにします。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室を開催します。

期間：2021（令和3）年7月21日（水）～8月31日（火）
※7月21日～9月30日、臨時休館（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）により開催中止。



展示の様子



ポスター

第2回「太平洋戦争と沖縄県の学童疎開 –家族との再会を夢見て–」

沖縄から多くの子どもたちが九州に避難した学童疎開について取り上げました。なぜ、危険な海を渡って、大勢の子どもを九州に避難させたのか？ 2年もの間、子どもたちはどんな生活をおくっていたのか？ みんな元気で沖縄に帰ってきたのか？ 戦時下の学童疎開に焦点をあてることで、来館した子どもたちに関心をもたせ、太平洋戦争について学ぶ機会としました。

期 間：2021（令和3）年11月10日（水）～2022（令和4）年2月20日（日）

観覧者数：8,360人



展示の様子



ポスター

第3回「切り離された沖縄 –クイズで学ぶ27年間のアメリカ統治–」

今年は、1972年に沖縄が日本に復帰してから50年になります。沖縄は、1945年にアメリカ軍に占領され、1952年4月28日に、日本から切り離されてアメリカの施政権下に置かれました。この27年間のアメリカ統治下の沖縄について、クイズを中心に展示しました。子どもたちが、クイズを通して沖縄の戦後史について理解を深め、沖縄県民の苦難の歩みと平和への願いについて考える機会としました。

期 間：2022（令和4）年3月1日（火）～5月31日（火）

観覧者数：12,565人



展示の様子



ポスター

(3) ギャラリー展

第1回 ギャラリー展 「戦争マラリア -八重山諸島の沖縄戦-」

期間：2021年（令和3）年5月18日（火）～10月12日（火）

内容：戦時下の沖縄では、多くの人々がマラリアに罹患し苦しみました。沖縄本島だけではなく、先島諸島（八重山・宮古）も艦砲射撃や空襲に加え、マラリアの感染によって住民が犠牲となりました。

この展示では、特に八重山諸島における「戦争マラリア」について焦点を当てて紹介しました。文書や写真だけではなく、体験者である潮平正道さんが描いた絵から「戦争マラリア」を知る機会とし、また当館の分館である「八重山平和祈念館」について紹介しました。

地域における様々な沖縄戦の形について考え、改めて学ぶ機会としました。



家族で展示を見て学ぶ様子



ポスター



八重山平和祈念館の
展示の様子だよ♪



第1展示室（常設展示）



第2展示室



「高熱に苦しむ母子像」
マラリア罹患者を看病する様子



「琉球政府時代に派遣された研究者
(マラリアを撲滅する様子)」



「DDT 噴霧器」
蚊やシラミなどを駆除するための薬剤

第2回ギャラリー展「あの日の沖縄－戦前編－」

期間：2021年（令和3）年10月15日（金）～2022（令和4）年2月15日（火）

内容：2021年は満州事変から90年、真珠湾攻撃から80年の節目の年になります。沖縄戦以前の町並みや人々の生活の様子はどのようなものだったのか、当館所蔵が所蔵する戦前・戦中の写真を通して「いつもの日常」を紹介しました。特に、県内の史跡や観光地など、よく知られている「あの場所」の過去と現在の写真を比較することで、沖縄戦によって多くの文化財が失われたことがわかるように昔の沖縄の原風景を紹介しました。



米軍の攻撃によって破壊された美福門
(1945年6月)



修復された美福門



ポスター

第3回ギャラリー展「あの日の沖縄－戦後編－」

期間：2022（令和4）年2月25日（金）～7月14日（木）

内容：戦後間もない収容所での暮らしや荒廃した故郷を復興させる逞しい人々の姿を展示紹介しました。貧しい生活の中にも明るく懸命に生きる人々の姿から、現在、日常の生活がいかに平和で大切であるというメッセージを感じ取れるように紹介しました。



親子で展示を見て学ぶ様子



ポスター

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録【2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日】

(1) 実物資料

個人及び団体より3件(17点)の寄贈の申し出があり、収蔵資料として受け入れました。

番号	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	2022年3月29日	メリケン袋	1	武田 亜樹
2	2022年3月31日	九四式軽迫撃砲	1	糸満市教育委員会
3	2022年3月31日	荒井退造氏資料「位記 叙勲五等授瑞寶章」	1	植松 真理
4	2022年3月31日	荒井退造氏資料 勲六位景雲章	1	植松 真理
5	2022年3月31日	荒井退造氏関連写真	5	植松 真理
6	2022年3月31日	荒井紀雄氏収集資料【簿冊】	5	植松 真理
7	2022年3月31日	荒井紀雄氏収集資料【書籍】	2	植松 真理

(2) 図書資料

【受入図書】2021（令和3）年度は、334点の書籍を受け入れました。

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
1	2021年4月2日	第30回 児童・生徒の平和メッセージ 実施報告書	沖縄県平和祈念資料館【編】	5
2	2021年4月13日	読谷村婦人会70周年記念誌	読谷村婦人会編集委員【編】	1
3	2021年4月13日	命の輝きを求めて マリアを生き抜いた人々の証言	八重山戦争マリアを 語り継ぐ会【編】	1
4	2021年4月13日	安田慶造回顧録 カウボーイ村長奮闘記	安田慶造回顧録編集委員会【編】	1
5	2021年4月13日	安里祥徳の自分史 15歳時に陸軍二等兵として沖縄戦参加	安里祥徳	2
6	2021年4月13日	田井等誌	字誌編集委員会【編】	2
7	2021年4月13日	沖縄 読谷村「自治」への挑戦—平和と福祉の地 域づくり	橋本俊雄【編著】	1
8	2021年4月13日	沖縄県平和祈念資料館 令和2年度特別展 戦時中の少女たちがつづった「学級日誌」～滋賀県 瀬田国民学校五年智組～194-1945	沖縄県平和祈念資料館【編】	5
9	2021年4月14日	國學院大學 博物館學紀要 第45輯	國學院大學博物館学研究室【編】	1
10	2021年4月14日	ひめゆり平和祈念資料館年報 第31号	ひめゆり平和祈念資料館【編】	1
11	2021年4月14日	感想文集 ひめゆり 第31号	ひめゆり平和祈念資料館【編】	1
12	2021年4月14日	現代社会研究 第7号	神戸学院大学 現代社会学会【編】	1
13	2021年4月14日	オンラインシンポジウム「地域史と世界史を繋ぐ 1947-1949「チャイナ部隊」～写真・証言・外交文 書から読み解く戦後初期秘話～」実施報告書	中村春菜【編】	1
14	2021年4月14日	2020年度糸満市平和ガイド育成事業(ふるさと応 援基金事業)実施報告書	糸満市役所秘書広報課【編】	3
15	2021年4月14日	感想文集 ハンセン病問題から平和を考える 手をつなぎともに生きる社会へ 第二号	沖縄愛楽園交流会館【編】	1
16	2021年4月14日	令和元年度 鳥取市歴史博物館 やまびこ館年報	公益財団法人鳥取市文化財団 鳥取市歴史博物館【編】	1
17	2021年4月14日	浦添市美術館紀要 第16号	浦添市美術館【編】	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
18	2021年4月14日	DRI調査研究レポートvol.47 2021-03 黒田裕子氏の資料等分析による被災者支援の検証と継承	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター[編]	1
19	2021年4月14日	北海道博物館研究紀要 第6号	北海道博物館[編]	1
20	2021年4月14日	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要 第6号	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター[編]	1
21	2021年4月14日	広島平和研究 第8号	広島市立大学広島平和研究所[編]	1
22	2021年4月14日	宮古島市文化財調査報告書 第25集 第2西皆粉地の古墳 ウヅラ嶺の古墳 ウヅラ嶺の塚 嘉手刈アガリノミ子の古墳 一平成29年度狭間地区・ウヅラ嶺地区・イリノソコ地区のほ場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	宮古島市教育委員会[編]	2
23	2021年4月14日	宮古島市文化財調査報告書 第27集 第2イリノソコ古墳群一平成30年度イリノソコ地区ほ場整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	宮古島市教育委員会[編]	2
24	2021年4月14日	沖縄県立博物館・美術館年報 No.13(平成31・令和元年度実績)	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
25	2021年4月14日	令和2年度沖縄県立博物館・美術館 特別展 岩石 THE ROCK 一石ころから見える地球のダイナミズム一	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
26	2021年4月14日	令和2年度博物館企画展 沖縄の藍一自然と人が織りなす製藍の技一	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
27	2021年4月14日	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第13号	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
28	2021年4月14日	博物館企画展 新収蔵品展一令和元年度収蔵資料一	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
29	2021年4月14日	琉球王国文化遺産集積・再興事業巡回展 手わざ一琉球王国の文化一	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
30	2021年4月14日	令和元年度沖縄県立博物館・美術館特別展 琉球王国のグスク及び関連遺産群世界遺産登録20周年特別企画展 グスク・ぐすく・城一動乱の時代に生み出された遺産一	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
31	2021年4月17日	喜納辰彦写真集 もうひとつのウチナー 一海を渡った島人たち一	喜納辰彦	1
32	2021年4月17日	Okinawan Journal of Island Studies Volume2, March 2021	琉球大学島嶼地域科学研究所[編]	1
33	2021年4月17日	GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報 第10号	学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻[編]	1
34	2021年4月17日	図録・写真集 醜くも美しい人の一生、私は人間が好きだ。石川真生	松本知己(T&M projects)、亀海史明[編]	1
35	2021年4月17日	みんなの文化財図鑑 一無形文化財・民俗文化財編一	沖縄県教育庁文化財課[編]	1
36	2021年5月1日	所沢市平和推進事業のまとめ 令和2年度	所沢市経営企画部企画総務課[編]	1
37	2021年5月1日	社会安全学研究 第11巻	『社会安全学研究』第11巻編集委員会[編]	1
38	2021年5月1日	知覧特攻平和会館紀要 第3号	知覧特攻平和会館[編]	1
39	2021年5月1日	DRI調査研究レポートvol.49 2020-01 令和2年7月豪雨における災害対応の現地支援に関する報告書	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター[編]	1
40	2021年5月1日	南城市の沖縄戦 証言編一大里一	南城市教育委員会文化課市史編さん係[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
41	2021年5月1日	栃木県立文書館研究紀要 第25号	栃木県立文書館[編]	1
42	2021年5月1日	第10回沖縄平和賞報告書	沖縄平和賞委員会[編]	2
43	2021年5月1日	北中城村歴史風土資産調査報告書—祭祀—	北中城村教育委員会[編]	1
44	2021年5月1日	恩納村史 第2巻 考古編	恩納村史編さん委員会	1
45	2021年5月1日	仲座久雄 その文化財保護活動 1936年~1962年	仲座巖	1
46	2021年5月1日	沖縄本部強制動員犠牲者遺骨発掘 ※韓国語(日本語訳冊子付き)	行政安全部過去事関連業務 支援団	1
47	2021年5月1日	埋められた歴史・記憶を探し求めて—本部町健堅 で出会った東アジアの人々の記録—	「本部町健堅の遺骨を故郷に帰 す会」記録集編集委員会	2
48	2021年5月6日	第32軍首里司令部壕跡を歴史・平和学習の場に vol.3 ~地下司令部壕の保存・公開・活用に向けて~	牛島貞満	1
49	2021年5月27日	八重瀬の沖縄戦資料収集調査事業調査報告書	八重瀬町教育委員会	1
50	2021年5月27日	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館年報 令和2(2020)年度	八重瀬町教育委員会 生涯学習文化課	1
51	2021年5月27日	創大平和研究 第34号 2019	創価大学平和問題研究所	1
52	2021年5月27日	創大平和研究 第35号 2020	創価大学平和問題研究所	1
53	2021年5月27日	Peace Forum 2020 Proceedings/Creative Collaboration for a Resilient World	創価大学平和問題研究所	1
54	2021年5月27日	沖縄県立第三高等女学校の沖縄戦	沖縄県立第三高等女学校21期 生なごらん会	1
55	2021年5月27日	久米島町史 資料編1 久米島の戦争記録	久米島町史編集委員会[編]	1
56	2021年5月27日	沖縄法学 第49号	沖縄国際大学法学会[編]	1
57	2021年5月27日	久米島博物館紀要 第21号	久米島博物館[編]	1
58	2021年5月31日	戦争の時代の子どもたち —瀬田国民学校五年智組の学級日誌より	吉村文成	1
59	2021年5月31日	1944-1945年 少女たちの学級日誌 瀬田国民 学校五年智組	吉村文成[解説]	1
60	2021年6月21日	沖縄県公文書館研究紀要 第23号	(公財)沖縄県文化振興会 公文書管理課[編]	1
61	2021年6月21日	横内家文書 教育関係資料翻刻集II	那覇市歴史博物館[編]	1
62	2021年6月21日	DRI調査研究レポートvol.50 2020-05 「災害語り継ぎ」に関する研究論文集	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター[編]	1
63	2021年6月21日	漂着の岸辺	桂沢仁志	1
64	2021年6月21日	沖縄の混血児と母たち	福地曠昭	1
65	2021年6月21日	沖縄はだまっていられない	屋良朝苗	1
66	2021年6月21日	屋良朝苗回顧録	屋良朝苗	1
67	2021年6月21日	続 日の丸・君が代	清水皓毅	1
68	2021年6月21日	沖縄 今この時	屋良朝苗	1
69	2021年7月21日	琉球アジア文化論集 琉球大学人文社会学部紀要 第7号	琉球大学人文社会学部琉球 アジア文化学科[編]	1

I
概

要

II
事調
査研
業究III
事展
示企
業画IV
活資
用料
事集
業・V
事教
育普
業及VI
出広
報報
版活
動等VII
事そ
の他
業のVIII
入館
者状
況IX
祈八
重山
念平
和館X
活友
動の
報告
会XI
規則
・要
例・XII
入年
館度
状別

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
70	2021年7月21日	立命館大学国際平和ミュージアム 資料研究報告 第5号	立命館大学国際平和ミュージアム[編]	1
71	2021年7月21日	立命館平和研究 第22号	立命館大学国際平和ミュージアム[編]	1
72	2021年7月26日	政りごと	藤森幸三	1
73	2021年7月26日	DRI調査研究レポートvol.51 2020-06 令和2年度研究論文・報告集	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター[編]	1
74	2021年7月26日	錦町立人吉海軍航空基地資料館 図録	錦町立人吉海軍航空基地資料館	2
75	2021年7月26日	山の中の海軍の町 にしき ひみつ基地ミュージアム ～ストーリーブック～	錦町立人吉海軍航空基地資料館	2
76	2021年7月27日	シマの戦争―戦争体験記―	山城正夫	1
77	2021年7月27日	REKIHAKU 特集「日記がひらく歴史のトビラ」	国立歴史民俗博物館[編]	1
78	2021年7月27日	竹富町史 第11巻 資料編 新聞集成Ⅷ	竹富町史編集委員会	1
79	2021年7月27日	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム 平成31年度・令和元年度 年報	世界遺産座喜味城跡ユンタンザ ミュージアム[編]	1
80	2021年7月27日	座喜味城跡～環境整備事業の10年～ 護佐丸が残した遺産	世界遺産座喜味城跡ユンタンザ ミュージアム[編]	1
81	2021年7月27日	平和の絵本 クリぞう	有田英樹[原作]	2
82	2021年7月27日	うるま市文化財調査報告書第32集 市内遺跡発掘調 査報告書―田場、上江洲ウフガー、藪地洞穴遺跡―	うるま市教育委員会[編]	1
83	2021年7月27日	うるま市文化財調査報告書第34集 勝連城跡― 西原御門付近発掘調査報告書 I―	うるま市教育委員会[編]	1
84	2021年7月27日	うるま市文化財調査報告書第35集 市内遺跡発 掘調査報告書―平敷屋古島遺跡、アカジャンガ ー貝塚、藪地洞穴遺跡―	うるま市教育委員会[編]	1
85	2021年7月27日	うるま市文化財調査報告書第37集 抑留469日 南洋群島サイパン島 嶋峯一『抑留日記』	うるま市教育委員会[編]	1
86	2021年7月27日	南米大陸55年の道程 屋宜宣太郎の軌跡と移民の現在	新崎盛文	1
87	2021年7月27日	葎と骨 大東亜戦争悲話 完全版	武野繁泰	1
88	2021年7月27日	かつしかブックレット15 帝釈人車鉄道 ―人車のゆくえを追って―	葛飾区郷土と天文の博物館	1
89	2021年7月27日	20世紀の証言 ピュリツァー賞写真展	虹工房+岩田高明[編]	1
90	2021年7月27日	しまくとぅば読本	「しまくとぅば読本」制作委員会[編]	1
91	2021年7月27日	ゆんたんざむんがたい その5	読谷村立歴史民俗資料館	1
92	2021年7月27日	豊見城市文化財調査報告書第9集 豊見城市の遺跡―市内遺跡分布調査事業―	豊見城市教育委員会文化課[編]	1
93	2021年7月27日	平和の風(かじ) バスガイド・糸数慶子の挑戦	福井美穂子[作画]	1
94	2021年7月27日	祈りの造型 日本民藝館所蔵・厨子甕	日本民藝館学芸部[編]	1
95	2021年7月27日	ペリー来航と横浜	横浜開港資料館[編]	1
96	2021年7月27日	消された精神障害者	原義和[編著]、高橋年男[解説]	1
97	2021年7月27日	日系アメリカ人の歴史 ―アメリカに渡った日系人の歩み―	全米日系人博物館[編]	1

I 概
要
II 事 調 査 研 究 業
III 事 展 示 企 業 画
IV 活 資 料 収 集 業
V 事 教 育 普 業 及
VI 出 広 報 版 活 動 等
VII 事 そ の 他 業 の
VIII 入 館 者 状 況
IX 八 重 山 平 和 館
X 活 友 動 の 報 告 会
XI 規 則 ・ 要 綱
XII 入 年 館 度 状 況 別

番号	受入月日	書 籍 名	著 者	数量
98	2021年7月27日	米軍占領下の沖縄刑務所事件	瑞慶覧長和	1
99	2021年7月27日	海外移住資料館展示案内 われら新世界に参加す	海外移住資料館[編]	1
100	2021年7月27日	琉球の文化 1972年第1号	大城精徳[編]	1
101	2021年7月27日	アラカキ棒巻きの歴史	沖縄県糸満市字新垣棒巻き保存会+沖縄県糸満市字新垣[共著]	1
102	2021年7月27日	琉歌・恋歌の情景	船越義彰	1
103	2021年7月27日	県選択無形民俗文化財 首里王府の路地楽	沖縄県民俗芸能保存会[編]	1
104	2021年7月27日	首里城研究 No.1	首里城研究会[編]	1
105	2021年7月27日	首里城研究 No.2	首里城研究会[編]	1
106	2021年7月27日	首里城研究 No.3	首里城研究会[編]	1
107	2021年7月27日	首里城研究 No.4	首里城研究会[編]	1
108	2021年7月27日	首里城研究 No.5	首里城研究会[編]	1
109	2021年7月27日	沖縄県図書館協会誌 第18号(通巻第30号)	沖縄県図書館協会[編]	1
110	2021年7月27日	沖縄県図書館協会誌 第19号(通巻第31号)	沖縄県図書館協会[編]	1
111	2021年7月27日	平成17年度沖縄県公文書館移動展 沖縄戦と戦後復興	沖縄県文化振興会公文書管理部	1
112	2021年7月27日	平成25年度報告 琉球・沖縄芸能史年表第10集(戦後篇5)	国立劇場おきなわ運営財団[編]	1
113	2021年7月27日	琉球海運株式会社40年史	株式会社アドバイザー[編]	1
114	2021年7月27日	琉球海運株式会社65年史一万国津梁再びー	琉球海運65年史編集委員会	1
115	2021年7月28日	昭和館特別企画展図録「ポスターのちから～変化 する役割と広がるデザイン～」	昭和館学芸部[編]	1
116	2021年7月28日	長野県立歴史館研究紀要 第27号	長野県立歴史館[編]	1
117	2021年7月28日	令和2年度古文書資料目録 第26号	福岡市総合図書館文学・映像課[編]	1
118	2021年7月28日	福岡市総合図書館研究紀要 第21号	福岡市総合図書館[編]	1
119	2021年7月28日	DRI調査研究レポートvol.48 2020-03 避難 所運営マニュアル作成手引きの開発ー安全で高 質な避難所運営の支援ー	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター[編]	1
120	2021年7月28日	子ども生活福祉行政の概要(令和3年度)	沖縄県子ども生活福祉部福祉 政策課[編]	2
121	2021年8月10日	歌集 屋我地島	里山るつ	1
122	2021年8月10日	ドキュメント・ノベル 沖縄ハンセン病70年の痛み	川口与志子	1
123	2021年8月10日	第9回アジア私学会研究大会(沖縄大会) 報告講演・シンポジウム アジアの中の沖縄	アジア史学会第9回大会 (沖縄大会)実行委員会[編]	1
124	2021年8月10日	琉球方言のすがた 古語、大和言葉との対照	高良盛亮[編著]	1
125	2021年8月10日	沖縄戦と「集団自決」何が起きたか、何を伝えるか (「世界」臨時増刊No.774)	岡本厚[編]	1
126	2021年8月10日	大地の咆哮 元上海総領事が見た中国	杉本信行	1
127	2021年8月10日	沖縄の世界遺産	高良倉吉[監修]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
128	2021年8月10日	万葉集と八重山方言	宮良泰平	1
129	2021年8月10日	飛磔 48	『飛磔』編集委員会[編]	1
130	2021年8月10日	季刊 沖縄 63号(61・62合併号)	吉田嗣延[編]	1
131	2021年8月10日	写真絵本 こんにちは泡瀬干潟	小橋川共男	1
132	2021年8月10日	意識 林政八書	中須賀常雄[編著]	1
133	2021年8月10日	写真集 ベトナム反戦闘争 1965-69砂川	星紀市[編]、 砂川を記録する会[企画]	1
134	2021年8月10日	沖縄大学地域研究所紀要1999年度 年報No.14	秋山勝[編]	1
135	2021年8月10日	植民的体験と沖縄近代 1994(平成6)年度	秋山勝(琉球大学大学院法学研究科)	1
136	2021年8月10日	沖縄県教育委員会・中国第一歴史档案館 歴代宝案に関する交流10周年記念誌	財団法人沖縄県文化振興会公 文書管理部史料編集室[編]	1
137	2021年8月10日	南洋移民三拾年史	玉山憲助	1
138	2021年8月10日	尖閣諸島 写真・資料集	恵忠久(尖閣諸島防衛協会会長)	1
139	2021年8月10日	国立劇場おきなわ芸能資料集第1集 新城喜一 沖縄芝居大道具帳(下巻)	国立劇場おきなわ 調査養成課[編]	1
140	2021年8月10日	日本人的一少女 第3部	松田妙子	1
141	2021年8月10日	日本人的一少女 第4部	松田妙子	1
142	2021年8月16日	アフガニスタンの診療所から	中村哲	1
143	2021年8月16日	アフガニスタンで考える 国際貢献と憲法九条	中村哲	1
144	2021年8月16日	天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い	中村哲	1
145	2021年8月16日	第三帝国の興亡 1 ヒトラーの台頭	ウィリアム・ジャイラー	1
146	2021年8月16日	第三帝国の興亡 2 戦争への道	ウィリアム・ジャイラー	1
147	2021年8月16日	第三帝国の興亡 3 第二次世界大戦	ウィリアム・ジャイラー	1
148	2021年8月16日	第三帝国の興亡 4 ヨーロッパの征服	ウィリアム・ジャイラー	1
149	2021年8月16日	第三帝国の興亡 5 ナチ・ドイツの滅亡	ウィリアム・ジャイラー	1
150	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第1巻 文久2年~明治5年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
151	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第2巻 明治6年~同9年6月	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
152	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第3巻 明治9年7月~同11年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
153	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第4巻 明治12年~同14年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
154	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第5巻 明治15年~同17年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
155	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第6巻 明治18年~同20年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
156	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第7巻 明治21年~同23年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
157	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第12巻 明治36年~同38年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
158	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第13巻 明治39年~同41年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
159	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第14巻 明治42年~同45年	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1
160	2021年8月16日	新聞集成 明治編年史 第15巻 全巻索引	中山泰昌[編著] 中山八郎[監修]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
161	2021年8月23日	不条理を生き貫いて 34人の中国残留婦人たち	藤沼敏子	1
162	2021年8月23日	あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち(上) ー北海道・東北・中部・関東編ー	藤沼敏子	1
163	2021年8月23日	あの戦争さえなかったら 62人の中国残留孤児たち(下) ー関西・山陽・四国・九州・沖縄・中国の養父母編ー	藤沼敏子	1
164	2021年8月23日	WWII 50人の奇跡の命 ー満蒙開拓青少年義勇軍・従軍看護婦・サハリン残留・沖縄・台湾・満洲からの早期帰国者ー	藤沼敏子	1
165	2021年8月27日	地べたの戦争 記者に託された体験者の言葉	「言葉を刻む」取材班	1
166	2021年9月28日	沖縄国際大学日本語日本文学研究 第25巻第1号(通巻第46号)	沖縄国際大学日本語日本文学会[編]	1
167	2021年9月28日	沖縄国際大学外国語研究第24巻第1号	沖縄国際大学外国語学会[編]	1
168	2021年9月28日	沖縄国際大学外国語研究第25巻第1号	沖縄国際大学外国語学会[編]	1
169	2021年9月28日	沖縄国際大学総合学術研究紀要 第22巻第1号 通巻第29号	沖縄国際大学総合学術学会[編]	1
170	2021年9月28日	昭和館館報 第22号(令和2年度)	昭和館[編]	1
171	2021年9月28日	昭和のくらし研究 第19号	昭和館[編]	1
172	2021年9月28日	令和3年度沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展 みんなの進化展～命はつながっている～	沖縄県立博物館・美術館	1
173	2021年9月28日	令和元(2019)年度 沖縄県内埋蔵文化財公開活用合同企画展 掘り出された戦前の沖縄 企画展示図録	沖縄県埋蔵文化財センター	1
174	2021年9月28日	平成28年度国指定40周年記念・恩納村博物館開館15周年記念 企画展「仲泊遺跡展ー時代と共にあゆむ遺跡の歴史ー」	恩納村教育委員会、恩納村博物館	1
175	2021年9月28日	基地、平和、沖縄ー元戦場カメラマンの視点	石川文洋	1
176	2021年9月28日	精選国語総合	三角洋一 他	1
177	2021年9月28日	新編国語総合	三角洋一 他	1
178	2021年9月28日	よくわかる日本の城 日本城郭検定公式参考書	加藤理文[著] 小和田哲男[監修]	1
179	2021年9月28日	沖縄戦を生きぬいた人びとー揺れる想いを語り合えるまでの70年	吉川麻衣子	1
180	2021年9月28日	美術屋・百兵衛 第38号・夏 通巻38号	河周希 他	1
181	2021年9月28日	戦いで読む日本の歴史5 近代日本の戦争	矢部健太郎[監修]	1
182	2021年9月28日	なんにもなかった 戦中・戦後の暮らしの記録 拾遺集 戦後編	暮らしの手帖社	1
183	2021年9月28日	平和・環境を考える こども平和文集 23	一般財団法人 平和協会・児童部	1
184	2021年9月28日	ビジュアル版 近代日本移民の歴史③ 太平洋～南洋諸島～オーストラリア	「近代日本移民の歴史」編集委員会	1
185	2021年9月28日	週刊 マンガ日本史[改訂版]	河合敦、山口正[監修]	1
186	2021年9月28日	パンプキン 第29巻第8号	潮出版社[編]	1
187	2021年9月28日	おきなわ倶楽部別冊 あそぼんvol.13 2019年度版	株式会社ダイオキ	1
188	2021年9月28日	海なお深く 徴用された船員の悲劇(上巻)	全日本海員組合[編]	1

I 概

要

II 事 調 査 研 究 業 務

III 事 展 示 企 業 画

IV 活 資 料 収 集 事 業

V 事 教 育 普 業 及

VI 出 広 報 活 動 等

VII 事 そ の 他 業 の

VIII 入 館 者 状 況

IX 八 重 山 平 和 館

X 活 友 動 の 報 告 会

XI 規 則 ・ 要 綱

XII 入 館 度 状 況 別

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
189	2021年9月28日	海なお深く 徴用された船員の悲劇(下巻)	全日本海員組合[編]	1
190	2021年9月28日	沖縄 渡名喜方言辞典	比嘉松吉[著]、高江洲頼子[編]	1
191	2021年9月29日	新崎盛暉文庫目録—図書編—	沖縄大学図書館	1
192	2021年9月29日	新崎盛暉文庫目録—雑誌・新聞編—	沖縄大学図書館	1
193	2021年9月29日	新崎盛暉文庫目録—文書・視聴覚編—	沖縄大学図書館	1
194	2021年10月1日	ひめゆり平和祈念資料館 ブックレット	ひめゆり平和祈念資料館	1
195	2021年10月8日	令和3年度第20回特別企画展 戦時体制下の国民生活—制限下の庶民のくらし—	沖縄県平和祈念資料館[編]	4
196	2021年10月8日	滋賀県平和祈念館年報 第9号(令和2年度)	滋賀県平和祈念館[編]	1
197	2021年10月8日	徳島県立博物館年報 第30号(令和2年度)	徳島県立博物館[編]	1
198	2021年10月8日	広島平和記念資料館資料調査研究会 研究報告 第17号	広島平和記念資料館資料調査研究会[編]	1
199	2021年10月8日	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 令和2年度年次報告書	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター[編]	1
200	2021年10月8日	産業情報論集 第17巻 第1号	沖縄国際大学産業情報学部[編]	1
201	2021年10月8日	沖縄国際大学経済論集 第12巻 第1号	沖縄国際大学経済学部[編]	1
202	2021年10月8日	国指定史跡 長崎原爆遺跡保存活用計画書	長崎市原爆被爆対策部被爆継承課 長崎原爆資料館	1
203	2021年10月8日	国指定史跡 長崎原爆遺跡整備基本計画書	長崎市原爆被爆対策部被爆継承課 長崎原爆資料館	1
204	2021年10月8日	令和3(2021)年度 国立歴史民俗博物館要覧	国立歴史民俗博物館[編]	1
205	2021年10月8日	令和3年度夏季企画展 青少年義勇軍が見た満洲—創られた大陸の夢	長崎県立歴史館	1
206	2021年10月8日	特別展 ひめゆりとハワイ図録	ひめゆり平和祈念資料館	2
207	2021年10月11日	中城村の学童疎開	中城村教育委員会 生涯学習課 文化係	1
208	2021年10月23日	やんばるの少年	たじまゆきひこ	1
209	2021年10月23日	てっぼうをもったキジムナー	たじまゆきひこ	1
210	2021年11月17日	南風原町文化財調査報告書第9集 与那覇グスク—与那原バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	南風原町教育委員会	1
211	2021年11月17日	南風原町文化財調査報告書第10集 与那覇旧日本軍壕—与那原バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	南風原町教育委員会	1
212	2021年11月25日	大里村文化財保護資料第3集 大里の文化財[第3版]	大里村教育委員会 社会教育課	1
213	2021年12月7日	Japと呼ばれて	穴戸清孝	1
214	2021年12月23日	滋賀で学ぶ戦争の記憶 改訂版	滋賀県平和祈念館 学習用小冊子編集委員会	1
215	2021年12月23日	学校にみる滋賀県民の戦争体験 戦争なんか大キライ	滋賀県健康福祉部健康福祉政策課	1
216	2021年12月23日	地域にみる滋賀県民の戦争体験 戦争なんか大キライ2	滋賀県健康福祉部健康福祉政策課	1
217	2021年12月23日	戦場にみる滋賀県民の戦争体験 戦争なんか大キライ3	滋賀県健康福祉部健康福祉政策課	1

計300点

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
218	2021年12月23日	滋賀県民戦争体験談集 語りつぐ記憶—戦時を生きた人びとの体験—	滋賀県平和祈念館	1
219	2021年12月23日	青い目の人形 メリーの旅	西村恭子	1
220	2022年1月6日	沖縄平和学習講和及びガイド集 創立15周年記念出版	沖縄県観光ボランティアガイド 友の会[編]	1
221	2022年1月6日	10年の歩み —沖縄県観光ボランティアガイド友の会—	沖縄県観光ボランティアガイド 友の会[編]	1
222	2022年1月6日	The Jeju April 3 Incident Through Women's Eyes Jeju Women Tell Their Stories	Heo Young-sun, Lee Gyu-bae etc	1
223	2022年1月6日	American Involvement in the Jeju April 3 Incident What the US Did on Jeju Island	Heo Ho-joon	1
224	2022年1月22日	第31回 児童・生徒の平和メッセージ実施報告書	沖縄県平和祈念資料館[編]	3
225	2022年1月28日	沖縄県平和祈念資料館年報 第21号	沖縄県平和祈念資料館[編]	3
226	2022年2月3日	増補改訂版 県内市町村史に掲載された中国で の戦争体験記を読む～沖縄出身兵170人の証言～	沖本裕司	1
227	2022年2月5日	つながる沖縄近現代史—沖縄のいまを考えるため の十五章と二十のコラム	前田勇樹、古波藏契、 秋山道宏[編]	1
228	2022年2月7日	沖縄戦の戦争遺品	豊里友行	1
229	2022年2月9日	沖縄県公文書館復帰50周年企画展第2弾 軍用 地政策の変遷 基地のない島から基地の島へ沖 縄の変貌を紐解く	沖縄県文化振興会 公文書管理課	1
230	2022年2月15日	特攻基地鎮魂の譜 よろずよに	万世特攻慰霊碑慰霊祭五十周 年記念誌編纂委員会／南さつま 市役所総務企画部[編]	2
231	2022年2月18日	設立20周年記念事業 沖縄語新聞18年の軌跡	NPO沖縄県沖縄語普及協議会	1
232	2022年3月2日	明治・大正・昭和 沖縄県学校写真帳	我部政男、宮城保[編]	1
233	2022年3月2日	琉球芸能事典	当間一郎[監修]	1
234	2022年3月2日	航空写真地図 大那覇市	那覇出版社[企画・制作]	1
235	2022年3月15日	大里のちてーばなし	伊芸弘子、南城市教育委員会文化 課市史編さん係[編]	1
236	2022年3月15日	南城市の民俗	「南城市の民俗」専門委員会[編]	1
237	2022年3月25日	はっちゃんの沖縄戦 —「忘らんで!」命の叫びに衝き動かされて—	高野裕	1
238	2022年3月25日	<記憶の継承>ミュージアムガイド 災禍のレイシと民俗の文化にふれる	皓星社編集部[編]	1
239	2022年3月25日	原爆文学研究 20	原爆文学研究会[編]	2
240	2022年3月25日	GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究 科アーカイブズ学専攻研究年報 第11号	学習院大学大学院人文科学研究 科アーカイブズ学専攻[編]	1
241	2022年3月25日	第43回南島文化市民講座 葬墓制からみる近世 琉球社会—祖先と子孫の対話—(報告書)	沖縄国際大学総合研究機構南 島文化研究所[編]	1
242	2022年3月25日	令和3年度テーマ展図録 埼玉再建!—「埼玉メガ ホン」と復興の時代—	埼玉県平和資料館[編]	1
243	2022年3月25日	子どもたちと考える「戦争と平和」展in高槻・島本 2021 報告集	子どもたちと考える「戦争と平和」展 in高槻・島本2021実行委員会[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
244	2022年3月25日	浦添市美術館紀要 第17号	浦添市美術館[編]	1
245	2022年3月25日	北中城村歴史風到資産調査報告書―旧跡―	北中城村教育委員会[編]	1
246	2022年3月25日	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第15号	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
247	2022年3月25日	沖縄県立博物館・美術館年報 No.14(令和2年度実績)	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
248	2022年3月25日	博物館企画展 新収蔵品展―令和2年度収蔵資料―	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
249	2022年3月25日	感想文集 ハンセン病問題から平和を考える 手をつなぎともに生きる社会へ 第三号	沖縄愛楽園交流会館[編]	1
250	2022年3月25日	昭和館特別企画展図録「SF・冒険・レトロフューチャー ×リメイク～挿絵画家 梶島勝一と小松崎茂の世界～」	昭和館学芸部[編]	1
251	2022年3月25日	沖縄県公文書館復帰50周年企画展第2弾 軍用地政策の変遷 基地のない島から基地の島へ沖縄の変貌を紐解く	沖縄県文化振興会 公文書管理課	1
252	2022年3月25日	REKIHAKU 特集「歴史のなかの疫病」	国立歴史民俗博物館[編]	1
253	2022年3月25日	語りつごう あの日 あの頃 <2016～2021>	小泉靖子[編]	1
254	2022年3月25日	沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料集) 令和3年3月	沖縄県知事公室基地対策課[編]	1
255	2022年3月25日	2021 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 概要	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所[編]	1
256	2022年3月25日	沖縄市立郷土博物館紀要 あやみや 第29号	沖縄市立郷土博物館[編]	1
257	2022年3月25日	沖縄市文化財調査報告書第49集 比屋根遺跡―災害時緊急避難通路整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―	沖縄市立郷土博物館[編]	1
258	2022年3月25日	沖縄市文化財調査報告書第50集 安慶田・照屋のわらべ歌	沖縄市立郷土博物館[編]	1
259	2022年3月25日	北海道博物館第5回特別展「アイヌ語地名と北海道」 連続講座・特別フォーラム講演記録	北海道博物館[編]	1
260	2022年3月25日	明治大学平和教育登戸研究所資料館館報 第7号 2021年度	明治大学平和教育登戸研究所資料館[編]	1
261	2022年3月25日	しょうけい館年報 令和2年度(第15号)	しょうけい館 戦傷病者史料館[編]	1
262	2022年3月25日	令和2年度浦添市美術館年報	浦添市美術館[編]	1
263	2022年3月25日	令和3年度アイヌ工芸品展 アイヌのくらし―時代・地域・さまざまな姿 aynu teeta cikor a puri, tane okay cikor puri	公益財団法人アイヌ民族文化財団他[編]	1
264	2022年3月25日	夏の企画展 車いすと戦傷病者	しょうけい館(戦傷病者史料館)[編]	1
265	2022年3月25日	沖縄アーツカウンシル 令和3年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 支援事業事例集	沖縄アーツカウンシル 公益財団法人沖縄県文化振興会[編]	1
266	2022年3月25日	立命館平和研究 第23号	立命館大学国際平和ミュージアム[編]	1
267	2022年3月28日	みんなの文化財図鑑 天然記念物編	沖縄県教育庁文化財課	1
268	2022年3月29日	広島平和研究 第9号	広島市立大学広島平和研究所[編]	1
269	2022年3月29日	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第10号	沖縄県立博物館・美術館 美術館班[編]	1
270	2022年3月29日	琉球の横顔 描かれた「私」からの出発	金城美奈子(一般財団法人沖縄美ら島財団学芸員)他	1

【購入図書】2021(令和3)年度は、34点の図書を購入、情報ライブラリー、新着資料コーナーで閲覧できます。

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
1	2022年3月24日	伊江島の記録と記憶 時をこえ伝えよう伊江島米軍爆弾輸送船LCT爆発事件	伊江島米軍LCT爆発事件8・6の会[編]	1
2	2022年3月24日	日本近代史のなかの沖縄	我部政男	1
3	2022年3月24日	展示学事典	日本展示学会[編]	1
4	2022年3月24日	学芸員のための展示照明ハンドブック	藤原工	1
5	2022年3月24日	米軍資料 日本空襲の全容 マリアナ基地 B29部隊【新装版】	小山仁示	1
6	2022年3月24日	ハワイ日系人の強制収容史 太平洋戦争と抑留所の変遷	秋山かおり	1
7	2022年3月24日	首里城地下第32軍司令部壕 その保存・公開・活用を考える	牛島貞満	1
8	2022年3月24日	戦後沖縄と復興の「異音」	謝花直美	1
9	2022年3月24日	国家に捏造される沖縄戦体験 準軍属扱いされた0歳児・靖国神社への合祀	石原昌家	1
10	2022年3月24日	学芸員がミュージアムを変える!	今村信隆	1
11	2022年3月24日	現代博物館入門	栗田秀法	1
12	2022年3月24日	博物館資料保存論	石崎武志	1
13	2022年3月24日	戦争・記憶 沖縄戦と集団自決	亀山亮	1
14	2022年3月24日	博物館展示の理論と実践	里見親幸	1
15	2022年3月24日	奄美・喜界島の沖縄戦 沖縄特攻作戦と米軍捕虜斬首事件	大倉忠夫	1
16	2022年3月24日	米軍から見た沖縄特攻作戦 カミカゼVS.米戦闘機、レーダー・ピケット	ロビン・リエリー[著] 小田部哲哉[訳]	1
17	2022年3月24日	データで知る現代の軍事情勢	石池正幸	1
18	2022年3月24日	10万人を超す命を救った沖縄県知事・島田叡	TBSテレビ報道局「生きろ」	1
19	2022年3月24日	ひめゆりたちの春秋	仲程昌徳	1
20	2022年3月24日	国民義勇戦闘隊と学徒隊	斉藤利彦	1
21	2022年3月24日	知られざる兵団 国陸軍独立混成旅団史	藤井非三四	1
22	2022年3月24日	沖縄戦の子どもたち	川満彰	1
23	2022年3月24日	沖縄戦における住民問題	原剛	1
24	2022年3月24日	「沖縄人スパイ説」を砕く	大城将保	1
25	2022年3月26日	沖縄戦捕虜の証言―針穴から戦場を穿つ― 上巻	保坂廣志	1
26	2022年3月26日	沖縄戦捕虜の証言―針穴から戦場を穿つ― 下巻	保坂廣志	1
27	2022年3月26日	沖縄戦将兵のこころ 生身の捕虜調査	保坂廣志	1
28	2022年3月26日	硫黄島・沖縄戦場日記1	保坂廣志	1
29	2022年3月26日	硫黄島・沖縄戦場日記2	保坂廣志	1

I 概
要
II 事 調 査 研 究
III 事 展 示 企 業 画
IV 活 資 料 収 集
V 事 教 育 普 業 及
VI 出 広 報 活 動
VII 事 そ の 他 業 の
VIII 入 館 者 状 況
IX 祈 八 重 山 平 和
X 活 友 動 の 報 告 会
XI 規 関 係 条 例
XII 入 年 館 度 状 況 別

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
30	2022年3月26日	沖縄戦のトラウマー心に突き刺す棘ー	保坂廣志	1
31	2022年3月26日	近代日本の軍隊と社会	原田敬一[編]	1
32	2022年3月26日	戦没者遺骨収集と戦後日本	浜井和史	1
33	2022年3月26日	写真記録 太平洋戦争の時代	日本近代史研究会[編]	1
34	2022年3月26日	決定版 東京空襲写真集 アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録	早乙女勝元[監修]	1



沖縄県平和祈念資料館のことを
いちばんよく知っている
虹の妖精アカナちゃん

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日は、県内外あわせて計（63）件、（681）点の貸出を行いました。

[県内 46件 400点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	県立島尻特別支援学校	平和学習キットB・C	2	4/26～5/10
2	浦添市立港川小学校	平和学習キットA・B	2	5/8～5/22
3	南城市立佐敷小学校	平和学習キットA・B	2	5/14～5/28
4	那覇市立城東小学校	平和学習キットA・B	2	5/17～5/28
5	那覇市立大道小学校	沖縄戦実物資料(6点)	6	5/19～5/24
6	県立与勝高等学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	5/19～6/25
7	うるま市立田場小学校	平和学習キットC 沖縄戦実物資料(15点)	16	5/21～6/4
8	県立開邦中学校	平和メッセージ入賞作品(7点)	7	5/24～6/29
9	糸満市立喜屋武小学校	平和学習キットB・C	2	5/25～6/8
10	浦添市立神森小学校	平和学習キットB・D 沖縄戦の写真パネル(10点) 沖縄戦の絵パネル(8点) 沖縄戦の実物資料(10点)	30	5/27～6/25
11	糸満市立三和中学校	沖縄戦実物資料(10点)	10	5/28～6/11
12	県立大平特別支援学校	沖縄戦の写真パネル(6点) 沖縄戦の絵パネル(14点)	20	5/28～7/1
13	県立北山高等学校	平和学習キットA 沖縄戦実物資料(10点)	11	5/29～6/26
14	那覇市立小祿南小学校	沖縄戦の実物資料(10点)	10	5/30～6/27
15	那覇市立古蔵小学校	沖縄戦の写真パネル(10点) 沖縄戦の絵パネル(4点) 平和学習キットD 平和メッセージ入賞作品(3点)	18	5/30～6/27
16	豊見城市立ゆたか小学校	沖縄戦実物資料(15点) 平和学習キットA	16	6/1～6/9
17	県立那覇国際高等学校	沖縄戦の絵パネル(11点) 平和メッセージ入賞作品(6点) 沖縄	17	6/1～6/30
18	県立森川特別支援学校	戦の実物資料(8点)	8	6/1～6/24
19	豊見城市立豊見城中学校	沖縄戦の写真パネル(17点)	17	6/1～6/30
20	東村立東小中学校	沖縄戦実物資料(2点) 平和メッセージ入賞作品(7点)	9	6/3～6/17
21	第2宮城学童クラブ	沖縄戦実物資料(5点) 沖縄戦の写真パネル(14点) 沖縄戦の絵パネル(4枚) 平和学習キットA・C	25	6/5～6/30
22	浦添市立牧港小学校	沖縄戦実物資料(4点) 平和学習キットA・B	6	6/7～7/17
23	県立島尻特別支援学校	平和学習キットA	1	6/9～6/22

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
24	久米島博物館	平和のウムイ地域版(久米島)	1	6/10～6/30
25	伊是名村立伊是名小学校	平和のウムイ地域版(北部)	1	6/10～6/24
26	浦添市立浦添小学校	平和学習キットB	1	6/10～6/24
27	浦添市立前田小学校	平和学習キットC・D 沖縄戦の写真パネル(2点) 沖縄戦の絵パネル(1点) 平和メッセージ入賞作品(4点)	9	6/11～6/22
28	NPO 法人 エンカレッジ	平和学習キットA・B	2	6/11～6/25
29	那覇市立真地小学校	平和学習キットB	1	6/12～6/26
30	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットC	1	6/12～6/26
31	県立南部農林高等学校	沖縄戦実物資料(7点)	7	6/14～7/18
32	竹富町立船浦中学校	平和のウムイ地域版(石垣島)	1	6/15～6/29
33	県立那覇高等学校	沖縄戦実物資料(6点) 平和メッセージ入賞作品(2点)	8	6/16～7/9
34	インターナショナルスクール	沖縄戦の写真パネル(17点) 沖縄戦の絵パネル(3枚)	20	6/16～6/25
35	南城市立知念小学校	沖縄戦実物資料(12点)	12	6/19～6/25
36	那覇市立若狭小学校	平和のウムイ地域版(那覇南部)	1	6/20～7/4
37	昭和薬科大学附属中学校	平和学習キットB	1	6/21～7/1
38	糸満市立三和中学校	沖縄戦実物資料(10点)	10	6/21～7/2
39	宗教法人 本願寺沖縄別院	平和メッセージ入賞作品(20点)	20	6/22～7/20
40	糸満市立糸満南小学校	平和学習キットC・D	2	6/22～7/6
41	豊見城市立ゆたか小学校	沖縄戦実物資料(19点) 平和学習キットA・D	21	6/23～6/30
42	昭和薬科大学附属中学校	平和学習キットB・C	2	7/14～7/22
43	S I T Y株式会社	沖縄戦実物資料(1点)	1	9/24～10/29
44	北中城村役場	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	12/8～12/20
45	八重山平和資料館	沖縄戦実物資料(2点)	2	12/12～2/5
46	宗教法人 本願寺沖縄別院	平和メッセージ入賞作品(15点)	15	3/24～4/25



アカナちゃん

[県外 17件 281点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(奈良県)奈良市立三笠中学校	平和メッセージ入賞作品(4点)	4	4/19～5/10
2	(岐阜県)多治見市立平和中学校	沖縄戦の写真パネル(12点)	12	5/28～6/14
3	(京都府)城陽市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	6/29～7/26
4	(大阪府)茨木市立南中学校	沖縄戦実物資料(18点) 平和学習キットB・C	20	7/5～7/16
5	(東京都)港区役所	沖縄戦実物資料(20点)	20	7/23～8/23
6	(静岡県)袋井市勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	7/28～8/25
7	(神奈川県)川崎市平和館	沖縄戦の絵パネル(9点) 平和学習キットB	10	7/29～8/27
8	(愛知県)刈谷市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	7/30～8/17
9	(愛知県)長久手市役所	沖縄戦の写真パネル(15点)	15	8/2～8/13
10	(神奈川県)厚木市役所	沖縄戦の写真パネル(20点) 平和学習キットA・B	22	8/2～8/16
11	(大阪府)柏原市人権推進課	沖縄戦実物資料(5点) 沖縄戦の写真パネル(15点)	20	8/2～8/31
12	(千葉県)市川市役所	沖縄戦の絵パネル(20点) 平和学習キットB	21	8/4～8/17
13	(栃木県)鹿沼平和写真展実行委員会	平和学習キットA・C	2	8/6～8/10
14	(埼玉県)越谷市役所	沖縄戦の絵パネル(20点)	20	10/28～11/10
15	(千葉県)流山市役所企画政策課	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	2/17～3/18
16	(千葉県)東海大付属市原望洋高等学校	沖縄戦の写真パネル(13点) 平和学習キットB・C	15	2/25～3/11
17	(千葉県)流山市役所企画政策課	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	2/18～3/18

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル(201点)、沖縄戦実物資料(20種類)、子や孫につながる平和のウムイ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル(図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル(52点)、平和学習キット(4種類)

(2) 証言映像の貸出

令和3年度(4/1～3/31)の貸出実績 12件(38本) [県内 8件 27本、県外 4件 11本]

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)の貸し出しを行っています。今年度は、コロナ感染症対策で来館が難しかった学校・団体が事前事後の学習教材として活用されています。また、県外の学校からも修学旅行で資料館を訪れる際の事前学習教材として効果的に活用されています。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)を貸出しています。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全28巻)・・・1巻に1～3名収録 [全79名]
- ②DVD『やーさん ひーさん しかーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』・・・米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死(集団自決)に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウムイ』(全36巻)・・・1巻に10名収録 [全300名]
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』・・・1枚に1名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全4巻)1巻に4～6名収録 [全19名]【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2枚1組セット [全70名])

3 撮影・掲載等利用一覧

2022 (令和4) 年3月31日現在

番号	利用者一覧	資料名	点数	申請日
1	浦添市立中央公民館 館長 長濱京子	○「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 最優秀作品 ・第30回 高等学校の部 最優秀賞 「あなたがあの時」 ・第29回 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 ・第28回 中学校の部 最優秀賞 「生きる」 ・第25回 高等学校の部 最優秀賞 「みるく世がやゆら」 [朗読講座テキストへの掲載・朗読]	4	4月9日
2	株式会社岩波書店 編集局部長 坂本政謙	○方言札(複製)の写真 [書籍への掲載]	1	4月20日
3	日本バプテスト女性連合会 会長 吉高 路	○沖縄県平和祈念資料館「展示むすびのことば」 [平和学習資料への利用]	1	4月24日
4	株式会社沖縄タイムス社 編集局部長 与那嶺一枝	○沖縄戦米軍記録写真 003,019,132,133,269,289 [新聞への掲載]	6	4月27日
5	柏市人権推進課 課長 服部倫知	○沖縄戦米軍記録写真 065,081,085,113,268,303,405,771 [展示会チラシ・ポスターへの掲載]	8	5月11日
6	株式会社NHKエンタープライズ コンテンツ 展開センター長 押田 敦	○「摩文仁の丘」写真 [番組内での放映]	1	5月12日
7	西原町教育教育委員会 教育長 新島 悟	○戦争体験者証言映像「防衛隊での爆弾運搬、防衛隊招集・曉部隊」(外間博さん) [展示会場における放映・利用]	1	5月18日
8	TBSテレビ報道特集 代表 辻 真	○「沖縄新聞」(1946年7月5日発行) ○名幸芳章氏寄贈写真14(遺骨収集をする学生) [番組内での放映]	2	5月22日
9	宜野湾市立博物館 館長 平敷 兼哉	○沖縄戦米軍記録写真 019,039,041,042,043,044,045,046,075,078,098,102,138,140,224,282,287,296,307,311,336,371,531,551,560,613,619,647,651,714,758,801、写真パネルB-018 [展示会用パネルの複製]	33	5月17日
10	沖縄県立浦添工業高等学校 校長 波平孝夫	○戦争体験証言映像 ・「死線のはざままで～沖縄工業生～」(大城英信さん) ・「兵隊でなければ人間ではない」(與那國秩さん) ・「家族と一に南部へ避難」(大城静江さん) ・攻撃を受けた人々の惨状」(城間康夫さん) ・「10.10空襲語、負傷兵の看護を行う」(山田和子さん) ・「青酸カリの注射を命じられる～東風平の野戦病院での体験～」(譜久山ハルさん) [平和学習特設授業における複製・放映]	6	5月21日
11	エアアンドイーネットワークス ジャパン合同会社 代表 ジョン・フラナガン	○沖縄戦米軍記録写真 009,022,058,060,074,094,126,139,143,148,230,233,247,252,300,301,353,531,536,551,554,696,738,763 ○大東亜戦争ニュース聴取用地図 ○満州支那全土明細地図 ○対馬丸パネル ○食糧購買帳(昭和18年) [番組内での放映]	28	5月22日
12	守口市市民生活部人権室 室長 塔本浩史	○沖縄戦の戦闘経緯(図)及び「鉄の暴風一住民の見た沖縄戦」説明文[平和事業の展示会用パネルとして複製]	2	6月2日
13	久米島博物館 館長 山城勇人	○鹿山文書(1945年4月9日) [展示会用パネルとして複製]	1	6月4日
14	株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○写真(遺骨収集等)02 自然壕の納骨所 ○写真(遺骨収集等)03 病院内の遺骨安置所	2	6月8日
15	琉球放送ラジオ局編成制作部 部長 多和田真梨奈	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」作文の部 優秀・最優秀作品 ・小学校(低学年) 最優秀賞 「大切なおくりもの」 ・小学校(高学年) 最優秀賞 「平和を受け継ぐ」 ・小学校(高学年) 優秀賞 「平和な世界へ」 ・中学校 最優秀賞 「パイナップル缶の思い出」 ・高等学校 最優秀賞 「私たちに託されたもの」 [ラジオ番組内での撮影・放映]	5	6月11日

番号	利用者一覧	資料名	点数	申請日
16	読売新聞社那覇支局 支局長 寺垣はるか	○貸出用実物資料写真 水筒H04、鉄かぶとG02、手術道具N01、N04、小銃A04 [新聞への掲載]	5	6月21日
17	株式会社沖縄タイムス社 編集局長 与那嶺一枝	○第29回「児童・生徒の平和メッセージ」作文部門 高等学校の部 最優秀賞作品「足音」 [新聞への掲載]	1	6月21日
18	岸和田市立浜小学校 校長 中原寿男	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [校長便りへの掲載]	1	6月21日
19	「公害からの問いかけ(仮)」 編者代表 安藤聡彦	○沖縄県平和祈念資料館外観写真 [書籍への掲載]	1	6月28日
20	水巻町図書館 館長 山田浩幸	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低学年)の部 最優秀賞作品 「へいわってすてきだね」 [展示会用パネルとして複製]	1	6月22日
21	小山九条の会 代表 松島隆裕	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [新聞(機関紙)への掲載]	1	7月4日
22	千葉県長南町立長南中学校 校長 保川浩基	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [学校便りへの掲載]	1	7月7日
23	三木市立総合隣保館 館長 藤田英子	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [機関誌への掲載]	1	7月9日
24	宮古島市長 座喜味一幸	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [広報誌への掲載]	1	7月12日
25	絵本の会 太田章子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低学年)の部 最優秀賞作品 「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	7月12日
26	NPO法人多摩住民自治研究所 代表 荒井文昭	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [会誌への掲載]	1	7月14日
27	ねりま地域文庫読書サークル 連絡会 代表 木村典子	○第15回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校の部 最優秀賞作品「平和な今」 [書籍への掲載]	1	7月15日
28	生活協同組合コープみらい 埼玉県本部 参加とネットワーク推進部 代表 長谷川悟	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低学年)の部 最優秀賞作品 「へいわってすてきだね」 [冊子への掲載・学習会における朗読]	1	7月16日
29	TBSスパークル 制作一部部長 別部時彦	○沖縄戦米軍記録写真 019、022、025、032、037、038、044、051、075、076、090、137、205、206、223、255 [番組内での放映]	17	7月19日
30	株式会社ククルビジョン 代表 宮平貴子	○当館館内撮影可能区域の映像 [撮影及び番組内での放映]	1	7月20日
31	厚木市長 小林常良	○第30回「児童・生徒の平和メッセージ」最優秀・優秀作品 【作文の部】 ・中学校の部 「おばあちゃんのほめ言葉」 ・高等学校の部 「過去に学び、未来に繋ぐ」 ・特別支援の部 「自分にとって平和とは」 【詩の部】 ・小学校(低)の部 「ぼくが気づいたこと」 ・小学校(高)の部 「平和のために」 ・中学校の部 「あしあと」 ・高等学校の部 「あなたがあの時」 ・特別支援の部 「自分が思う平和」 [展示会用パネル複製]	8	7月21日

番号	利用者一覧	資料名	点数	申請日
32	嘉手納町教育委員会 教育長 比嘉秀勝	○戦争体験者証言映像(平成16年度) ・「戦中戦後と教育者として生きて」(伊波剛さん) ・「住民の中にまぎれ込んだ日本兵」(稲嶺盛純さん) ・「避難先で護郷隊に入って」(奥間偉功さん) ・「アメリカ軍の上陸の日に捕虜になって」(吉浜千代子さん) ・「宮崎県野尻での学童疎開生活」(松堂忠仁さん) ・「サンショウ島へ開拓民として」(渡慶次憲政さん) ・「戦争が終わっても大勢の家族を女でひとりで支えて」(福地カマドさん) ・「アメリカ軍の猛攻撃の中で」(嶺井巖さん) ・「目の前で射殺された防衛隊員」(知花賢仁さん) ・「村は飛行場に取られ、兵隊で南部の戦場へ」(津嘉山正弘さん) ・「北部の山中で農林の鉄血勤皇隊をめざすが断念」(勝連朝蒲さん) ・「護郷隊へ」(吉浜朝徳さん) [常設展示室における放映]	12	7月27日
33	日本テレビ放送網株式会社 報道局国際部ワシントン支局 渡邊翔	○沖縄戦米軍記録写真 234、283、286、292 ○儀間真栄氏寄贈写真(①MISLの同級生との集合写真 ②久米島での鹿山隊の降伏式 ③鹿山部隊武装解除 ④久米島の米軍宿営地 ⑤米軍の救急車 ⑥診療所での 看護助手の女性達 ⑦田んぼで作業する久米島の住民)	11	8月3日
34	いるま平和のための戦争展実行 委員会 代表 滝沢良生	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の 部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [朗読のための利用]	1	8月4日
35	相模原市人権推進室 課長 田中義孝	○沖縄戦の戦闘経緯(図) [展示会用パネルとして複製]	1	8月11日
36	昭和区平和のつどい 実行委員会 代表 能登正嗣	○「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 最優秀作品 ・第23回 小学校の部(低学年) 「へいわってすてきだね」 ・第31回 中学校の部 「みるく世の謳」 [朗読のための利用]	2	8月13日
37	山梨英和高等学校放送部 顧問 濱 康博	○第30回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学 校の部 最優秀賞「あなたがあの時」 [朗読のための利用]	1	8月18日
38	琉球放送報道制作部 報道製作局長 宮城卓志	○大城光代氏寄贈資料(柳行李)2点 [撮影及び番組内での放映]	2	8月24日
39	株式会社福岡放送報道部 手嶋一雄	○沖縄戦米軍記録写真0226、パネルB-064 [番組内での放映]	2	8月27日
40	株式会社学び舎 責任者 千葉 保	○沖縄戦米軍記録写真0294 [教科書への掲載]	1	9月3日
41	玉城 福子	○当館外観写真 ○常設展示室内写真(ガマ内部・Aサインバー) [書籍への掲載]	5	9月1日
42	越谷市総務部総務課 課長 宮内賢一郎	○沖縄戦の絵 W-42(「みじぐあぬま(みずをおくれ)」 W-50(「尖閣諸島近海疎開船への攻撃」) [ポスター・チラシへの掲載]	2	9月9日
43	株式会社岩波書店 編集局局長 山本 賢	○沖縄戦米軍記録写真0294 [電子書籍への掲載]	1	9月17日
44	株式会社今人舎 代表取締役社長 中嶋舞子	○沖縄県平和祈念資料館外観写真 [書籍への掲載]	1	9月22日
45	日本友和会 理事長 水戸 潔	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [機関誌への掲載]	1	9月24日
46	久米島博物館 館長 山城勇人	○「鹿山文書」(1945[昭和20]年4月9日) ○儀間真栄氏寄贈写真資料 2番「鹿山隊武装解除」、3番 「久米島での鹿山隊降伏式」(久米島町史資料編『久米島 の戦争記録』掲載資料) [講演会での利用]	2	9月24日

番号	利用者一覧	資料名	点数	申請日
47	株式会社福岡放送報道部 手嶋一雄	○沖縄戦米軍記録写真0226、パネルB-064 [ハワイ日本語チャンネルにおける番組映像の放映]	2	10月6日
48	筑前町大刀洗平和記念館 館長 尾籠浩一郎	○沖縄戦米軍記録写真0019、0032 [展示パネルとして複製]	2	10月8日
49	株式会社皓星社 代表取締役 社長 藤巻修一・晴山生菜	○当館外観写真 ○常設展示室内写真(第3展示室、ガマ内部、第4展示室) ○子どもプロセス展示室写真 ○館内平面図 ○実物資料写真(軍機を語るな[防諜のポスター]、方言札[複製]、B円軍票、投降ピラ) [書籍への掲載]	10	10月4日
50	株式会社今人舎 代表取締役社長 中嶋舞子	○平和学習キットA(貸出資料)写真 ○沖縄戦米軍記録写真0232、0234 [書籍への掲載]	4	10月19日
51	株式会社海象社 代表 古館明廣	○沖縄戦米軍記録写真0085、0156、0206、0208、0212 [電子書籍への掲載]	6	10月25日
52	株式会社今人舎 代表取締役社長 中嶋舞子	○平和学習キットA(貸出資料)写真 ○沖縄戦米軍記録写真0232、0234 [電子書籍への掲載]	4	11月5日
53	日本のうたごえ祭典inひろしま 実行委員会 運営委員長 寺本美和子	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 [コンサートにおける利用]	1	11月11日
54	株式会社あかね書房 代表取締役社長 岡本光晴	○当館外観写真 [書籍への掲載]	1	11月16日
55	糸満市教育委員会生涯学習振興課	○三和村真栄平青年會旗の写真 ○軍用ラッパ写真	2	11月12日
56	嘉手納町教育委員会 教育長 比嘉秀勝	○沖縄戦米軍記録写真0282、0307 [展示用パネルに掲載]	2	11月24日
57	沖縄大学 秋山かおり	○沖縄戦の絵(奥田良寛春氏作) ○沖縄戦米軍記録写真0283、0286 [講座スライドへの掲載・放映]	3	11月26日
58	牛島満貞	○沖縄戦米軍記録写真0075、0138、0139、0787 [書籍への掲載]	4	11月26日
59	株式会社童夢 代表取締役社長 宮島陽子	○沖縄戦米軍記録写真0132、0227、0307 [書籍への掲載]	3	12月7日
60	嘉手納町教育委員会 教育長 比嘉秀勝	○沖縄戦米軍記録写真0023、0032、0758 [常設展示解説用パネルへの掲載]	3	11月19日
61	立命館大学国際平和ミュージアム 館長 吾郷眞一	○当館常設展示室の撮影(第1室、第2室、第3室、第5室) [調査のための撮影]	4	12月14日
62	下野新聞社編集局 社会部部长 山崎一洋	○荒井退造沖縄県警察部長の遺品とみられる万年室の写真 [新聞への掲載]	1	12月15日
63	沖縄菱電ビルシステム株式会社 代表取締役社長 長瀬英司	○当館外観写真(冷凍機設置状況含む) [記念誌への掲載]	1	12月20日
64	日本テレビ放送報道局 社会部 報道部長 森田公三	○当館収蔵庫入口及び収蔵庫内部写真(当館職員による撮影写真) ○収蔵品(機関銃弾、腹部より摘出された銃弾、迫撃砲の破片、陶器製手榴弾、陶器製地雷、銃剣、小銃用油缶、軍刀、水筒、飯盒、防毒面、軍靴、認識票、双眼鏡、ツルハン、懐中時計、戦時中に着用していた着物、投降勧告ピラ、手紙、ハガキ) [番組制作のための撮影・放映]	30	12月22日
65	平和・国際研究会 黒田貴子	○茅葺き集落の様子(大浦崎収容所地区) [書籍への掲載]	1	12月23日

I
概

要

II
事調
査研
業究III
事展
示企
業画IV
活資
用料
事集
業・V
事教
育普
業及VI
出広
報報
版活
動等VII
事そ
の他
業のVIII
入館
者状
況IX
祈八
重山
念平
館和X
活友
動の
報告
会XI
規関
則係
・要
案例
・XII
入年
館度
状
況別

番号	利用者一覧	資料名	点数	申請日
66	読売新聞社那覇支局 支局長 寺垣はるか	○沖縄戦米軍記録写真0256、0268、0269、0270 [新聞への掲載]	4	12月24日
67	中城村教育委員会 教育長 比嘉良治	○垣花得禄資料①「人数表(仮題)」②「配給申請基礎調査 ■(児童ノ部)」③「学童集団疎開宿舎配当表」 ④「配給申請及び住宅ニ関スル調査(引率関係者)」 ⑤「日々ノ行事(概要)」⑥「校外清掃実施案」 [書籍への掲載]	5	12月28日
68	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 上原直樹	○沖縄戦米軍記録写真0081 [番組内での放映]	1	1月10日
69	名護市教育委員会文化課 課長 仲井間憲彦	○沖縄戦米軍記録写真0314、0316、0358、大浦崎収容地区 [書籍への掲載]	4	1月5日
70	芳賀秀次郎賞実行委員会 会長 丸川正晃	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の 部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [書籍への掲載]	1	1月5日
71	株式会社日企 取締役プロ デューサー 江尻直孝	○沖縄戦米軍記録写真0081 [番組内での放映]	1	1月27日
72	株式会社童夢 代表取締役社長 宮島陽子	○当館外観写真 ○常設展示室内写真(第3展示室、ガマ内部、第4展示室) [書籍への掲載]	3	2月2日
73	徳島県中学校人権教育研究会 代表 宮田秀人	○沖縄戦米軍記録写真0613 ○展示むすびのことば [書籍への掲載]	2	2月14日
74	読売新聞東京本社 原 尚吾	○沖縄戦米軍記録写真0113 [新聞への掲載]	1	2月22日
75	筑前町立大刀洗平和記念館 館長 尾籠浩一郎	○沖縄戦米軍記録写真0032 [展示パネルとして複製]	1	2月25日
76	公益法人新聞通信調査会 代表理事 西沢 豊	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の 部 最優秀賞作品 「みるく世の謳」 [写真展パネル及び図録への掲載]	1	2月27日
77	すかがわ国際短編映画祭東京 実行委員会 代表 金山芳和	○証言映像「やーさん ひーさん しからーさんー集団疎開 学童の証言ー」 [上映のための利用]	1	3月2日
78	関西大学文学部 陶徳民	○教育勅語(明治23年10月30日) [書籍への掲載]	1	2月26日
79	八重瀬町教育委員会 委員長 諸見里勲	○沖縄戦米軍記録写真0081 [書籍への掲載]	1	3月10日
80	NHK沖縄放送局 局長 千葉聡史	○儀間真栄氏寄贈資料(写真) No.1「降伏式で兵士に話を をする鹿山兵曹長」 No.2「鹿山隊武装解除」 No.3「久 米島での鹿山隊の降伏式」 No.5(キャプション無) No.10(キャプション無) ○「鹿山文書」(2014年撮影映像済み映像) [番組内での放映]	7	3月25日
81	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城 孝	○沖縄戦米軍記録写真0233、0289、0613 [書籍への掲載]	3	3月22日

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第31回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失いました。戦後76年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とします。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とします。



ポスター

①応募総数 (2,942点)

図画 1,114点 作文 328点 詩 1,500点

②令和3年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

宮古島市立西辺中学校2年 上原 美春 「みるく世の謳」

③展示会

- ・石垣市 (八重山平和祈念館) 期間: 7月14日(水)～7月22日(木)
- ・宮古島市 (宮古島市未来創造センター) 期間: 7月29日(木)～8月3日(火)
- ・那覇市 (沖縄県立図書館) 期間: 10月1日(月)～10月11日(月)
- ・糸満市 (沖縄県平和祈念資料館) 期間: 7月28日(水)～8月31日(火)

③表彰式

- ・2021(令和3)年11月13日(土)午後2時～午後3時
沖縄県平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

④入賞作品数 (209点)

【小学校低学年の部】 32作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	11	21作品
作文	1	0	0	1	2作品
詩	1	2	3	3	9作品

【小学校高学年の部】 53作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	8	13	28作品
作文	1	1	2	4	8作品
詩	1	2	3	13	21作品

【中学校の部】 54作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	1	3	4	7	15作品
詩	1	3	4	11	19作品

【高等学校の部】 37 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	10	20 作品
作 文	1	2	3	2	8 作品
詩	1	2	3	3	9 作品

【特別支援（学校及び学級）の部】 33 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	4	7	14 作品
作 文	1	1	2	7	11 作品
詩	1	1	2	4	8 作品



記念撮影（図画部門）



記念撮影（作文部門）



記念撮影（詩部門）



喜ぶ受賞者



展示会の様子

(2) 親子ビデオ上映会 ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

- ① 「子どもの日」ビデオ上映会（於：1階平和祈念ホール）
期日：2021（令和3）年5月5日（水）
内容：子どもの日は、子どもを対象に無料入館を実施するとともに、
沖縄戦等に関するアニメの上映会を実施する。
- ② 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会（於：1F 平和祈念ホール）
期日：2021（令和3）年6月23日
内容：当館設立理念の普及啓発を図る目的で、慰霊の日は開館時間を1時間延長する
とともに沖縄戦関連ビデオ上映会を実施している。
今年度は、緊急事態宣言下で、開館以来初めての休館措置をとった。

(3) 夏休み子ども向け企画 ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

- ① 『親子で学ぶ沖縄戦』（於：2階大会議室及び常設展示室）
期日：2021（令和3）年8月8日（日）
内容：親子で平和講話の受講と常設展示室を見学し、沖縄戦への関心と理解を深める。
- ② 『平和アニメ上映会』（於：1階平和祈念ホール）
期日：2021年（令和3）8月7日（土）・9日（月）
内容：アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。
- ③ 親子平和フィールドワーク（於：摩文仁の丘周辺／祈念ホール）
期日：2021（令和3）年8月9日（月）
内容：平和祈念資料館の資料を活用して、平和祈念公園内にある戦跡や
慰霊碑等を見学して親子で沖縄戦について学習する。
- ④ 夏休み自由研究相談室（情報ライブラリー）
期日：2021（令和3年）8月1日（日）～8月31日（火）
内容：情報ライブラリー内に自由研究学習コーナーを設置し、自由研究
のテーマ選びやまとめ方などをアドバイスする。
- ⑤ 夏休み子ども教室（情報ライブラリー）
期日：7月下旬
内容：情報ライブラリーで用意した研究シートを使って沖縄戦について学習し、
それをまとめて自由研究ノートなどを作る。



アカナちゃん

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の紹介などを、要点をおさえて60分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。

総計 61 校 (74 回) [5,099 人]

- ・小学校 55 校 (65 回) [4,260 人]
- ・中学校 3 校 (4 回) [525 人]
- ・高等学校 1 校 (3 回) [252 人]
- ・特別支援学校 2 校 (2 回) [50 人]
- ・適応指導教室 1 校 (1 回) [12 人]



平和講話の様子 (大会議室)

(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

期間：通年

実地：6月7日(月) 国頭村立奥小学校

講師：久保田 暁 氏 (沖縄県平和祈念資料館友の会会長)

内容：沖縄県内の学校が、当館の展示室見学に係る事前学習又は事後学習として平和講話を当該学校にて実施する際に、当館が講師を派遣する。対象は、所在地が離島又は遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難な学校とする。(いわゆるフリースクールも含む)

【※対象について】

- ①沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ②いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

(3) 児童・生徒の職場体験 (インターンシップ) の受け入れ

7月～12月 ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により受け入れ要請なし。

(4) 沖縄少年院連携事業

期日：通年

内容：沖縄少年院の院生を対象に平和講話や常設展示室案内、
摩文仁の戦跡フィールドワークを実施する。

[実施回数・人数] 2回 6人

(5) 大学との連携事業

期日：5月16日(日)13:30～17:00

内容：県内大学における沖縄戦や平和に関する授業・ゼミと連携した取り組みを通して、沖縄戦の実相と教訓の継承を担う人材の育成をねらいとする。沖縄戦に至る経緯や戦況、戦後から現代に至るまで現状や課題等を主題とした平和講話を実施した後、常設展示室の見学、平和の礎や健児の塔等、摩文仁の戦跡フィールドワークを実施した。

[参加数] 沖縄大学 学生12名・教授1名

(6) 博物館学芸員実習の受け入れ

期日：8月24日(火)～9月1日(水)(土日を除く平日7日間)

内容：県内外の大学で学芸員資格を得ようとする学生を受け入れ、当館事業の一端を学ぶことを通じて、学芸員としての資質を磨く。

※ 沖縄国際大学・安田女子大学から各1名(計2名)が受講。



実習(作品のパネル作成)



実習(資料を観察し、スケッチする)



実習(公園内の戦跡フィールドワーク)

(7) 教員向け平和講話等利用案内説明会

県内学校の教員を対象に、沖縄戦の実相・教訓の継承と平和発信に関する当館の取組を周知し、平和学習における当館の利活用と連携を深めることを目的に開催する。

(8) 大人のための平和学習(入門編)

「1から学ぶ沖縄戦～子・孫と学び合うために～」

期日：10月24日(日)・11月28日(日)【2回実施】※毎月第4日曜日開催予定

場所：大会議室・常設展示室

内容：大人を対象に、平和講話(沖縄戦の記憶の継承・沖縄戦の経緯と特徴)と常設展示室見学を行う。大人世代が、家庭で子・孫と一緒に沖縄戦や平和について話し合う契機とするための、「沖縄戦を1から学ぶ」ことを目的とし、世代間における沖縄戦の実相と教訓の継承に繋げる。

(9) 資料館講習会

期日：2022(令和4)年3月15日(火) 13:00～17:00

場所：大会議室

内容：バス、タクシー運転手など観光業に従事する人を対象に、沖縄戦の概要や当館常設展示、当館の事業全般について理解いただき、観光客の案内に資することを目的に開催する。

3 講座・講習会・研修会

(1) 県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正し伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

〔日 時〕 2021（令和3）年4月5日（月） 14：00～15：30

〔場 所〕 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

〔参加者〕 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等 30名

〔内 容〕 （1）沖縄県平和祈念資料館について（設立理念、資料館の概要等について）

（2）2020（令和2）年度事業紹介（児童・生徒の平和メッセージ展等）

（3）教育機関との連携事業

①県内学校向け平和講話

②平和学習キット、証言映像貸出等

③離島・遠隔地講師派遣事業

（4）平和学習実践事例報告

那覇市立小禄小学校 6年担任 棚原綾乃 教諭

（5）質疑応答



平和講話等利用案内説明会の様子



平和学習実践事例報告（棚原教諭）

(2) 県立学校初任者研修

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

〔日 時〕 2021（令和3）年5月6日（木）14時00分～16時00分

〔場 所〕 沖縄県平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

〔受講者〕 県立学校初任者 73名

〔内 容〕 講義：「学校における平和学習・教育に望むもの」

(3) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修 ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

[日 時] 2021 (令和3) 年5月13日 (木)

(4) 幼稚園・認定こども園初任者研修

幼稚園及び認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2021 (令和3) 年6月10日 (木) 15時15分～16時45分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター IT 教育棟1F大講義室

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者 103名

[内 容] 講義：「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

[方 法] オンデマンド研修

(5) 那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修

教員の初任者及び中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2021 (令和3) 年7月26日 (月) 14時45分～16時45分

[場 所] 各学校 及び 南部合同庁舎4階第1会議室

[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校44名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンライン研修

(6) 島尻教育事務所 初任者研修

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び平和の礎・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2021 (令和3) 年7月27日 (火) 13時30分～16時45分

[場 所] 各学校 及び 島尻教育事務所

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校57名、指導主事3名 計60名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンデマンド研修

(7) 養護教諭初任者研修

本年度新採用された養護教諭初任者を対象とする研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2021 (令和3) 年7月28日 (水) 10時45分～12時15分

[場 所] 県立総合教育センター 第2研修室 (本館3階)

[受講者] 養護教諭初任者12名

[内 容] 講義：「平和教育について」

(8) JICA国別研修平和教育における現職教員研修 [対象国：コロンビア]

[日 時] 2021 (令和3) 年11月10日 (水)

[場 所] レキオウイングス

[方 法] オンデマンド研修

(9) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[日 時] 令和4年3月15日(火) 13:30～16:00 (16:00～17:00 希望者のみ)

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館2階大会議室、常設展示室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関17名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について

- ・講話：「沖縄戦の特徴と教訓」（講師：平和祈念財団 平田 守 氏）
- ・平和祈念資料館展示の内容について
- ・令和4（2022）年度年間事業計画
- ・館内案内及びポイント解説（希望者のみ）



会場の様子



平和講話の様子



館内を案内する職員



館内を案内する職員



アカナちゃん

VI 広報活動・出版物等

- 『**沖縄県平和祈念資料館 年報 第21号**』
2020（令和2）年度、当館事業の実績報告書に関わる行政資料
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A4版88頁、500部
※博物館、図書館等の施設へ配布。
- 『**資料館だより**』 第41号、第42号
資料館の活動報告や事業計画等について掲載。年間2回発行（9月、3月）
A4版8頁、2,500部
各学校、公立図書館、博物館施設等へ配布。
- 『**第20回特別企画展 戦時体制下の国民生活 制限下の庶民の暮らし**』
図録：A4版22頁、800部
チラシ：A4版2,000枚、ポスターA2サイズ600枚
各学校、公立図書館、博物館施設等へ配布。
- 『**新収蔵品展**』 2019年（令和元年）・2020（令和2）寄贈資料
図録 A4版100部 チラシ A4版500枚
各学校、公立図書館、博物館施設等へ配布。



Ⅶ その他の事業

1 沖縄平和啓発プロモーション事業 (戦後の戦争体験者証言映像の多言語編集及び WEB 公開業務)

(1) 実施目的

沖縄戦及び沖縄における終戦直後の復興の記録を次世代に継承するため、また、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に広く発信するために、沖縄戦及びアジア・太平洋戦争体験者の証言映像の編集(多言語対応)を行い、WEB サイトを開設して公開する。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県(主管 沖縄県平和祈念資料館)
- ・受託事業者
 - ①証言映像の多言語編集及び WEB 公開：沖縄コングレ・国建システム共同企業体
 - ②証言映像プロモーションビデオ制作：株式会社シネマ沖縄

(3) 事業期間

- ①戦後の戦争体験者証言映像の多言語編集及び WEB 公開
2021(令和3)年10月1日～2022(令和4)年3月31日
- ②戦後の戦争体験者証言映像プロモーションビデオ制作
2022(令和4)年3月2日～2022(令和4)年3月31日

(4) 事業内容

- ・2020(令和2)年度に収録・編集(日本語版)した戦争体験者30名分の証言映像を多言語編集(字幕及び吹き替えナレーション挿入)し、公開用WEBサイト「戦世からのあゆみ 戦争体験者戦中・戦後の証言映像」を開設しました。
- ・証言映像WEBサイトでは、日本語に加え多言語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ドイツ語・フランス語・マレー語)で証言映像及び証言文を公開しています。

(5) 事業成果

当館では、沖縄戦等の戦争を体験された方々の証言をとおして、戦争の実相と教訓を次代に正しく伝え、恒久平和の樹立に寄与するために、設立以来、体験者の証言を収録し発信してきました。また、世界の様々な地域に紛争の火種が隠れる昨今、国内のみならず、世界の人々と体験者の証言を共有し、平和の尊さと平和構築について考えていくことが重要であると考え、戦争体験者の証言を多言語化し公開しています。

今年度は、2018(平成30)年度から公開している証言映像「戦世の記憶」に続き、2020(令和2)年度に収録・編集を行った戦前から戦後復興期に至る30名分の証言映像を多言語化して、「戦世からのあゆみ」として公開しました。証言の中には、収容所生活や終戦直後の食糧難、遺骨収集や地域の復興、学校の再建、米軍による土地の接収、米軍爆弾処理船LCT爆発事故、生活改善事業、戦後の無国籍問題など沖縄の人々が直面した課題等についても取り上げています。戦世を生き抜き、戦後の復興に尽力された方々の証言から、荒廃した社会が再建されていく様子や絶望から這い上がった人びとの逞しさと力強さを感じることができます。当時の記憶の継承が課題となっている今日、戦争の実相と教訓、そして戦後の復興へ挑む人々の足跡について証言映像をとおして知っていただきたいと思えます。



「戦世からのあゆみ 戦争体験者
戦中・戦後の証言映像」
WEBサイトで紹介しています。

戦争体験者の証言映像「戦世からのあゆみ」を制作しました。沖縄本島及び離島、日本本土、台湾、サイパン、満州などで戦争を体験された30名による戦前から戦後の復興までの証言映像を公開しています。沖縄県平和祈念資料館ホームページの「戦世からのあゆみ」バナーや下記のQRコードからご覧になれます。



証言者名一覧

No.	氏 名 (敬称略)	出身地	タイトル	時間
1	上原美智子(うえはら みちこ)	糸満市	ハングリー精神で歩んできた戦後	18:25
2	吉嶺 全一(よしみね ぜんいち)	那覇市	摩文仁から国際平和へ	12:26
3	翁長 安子(おなが やすこ)	那覇市	ウンチケーサビラ(ご案内しますからご心配なく)	28:17
4	大城 藤六(おおしろ とうろく)	糸満市	戦後教育は人づくりから	25:34
5	中村 英雄(なかむら ひでお)	本部町	海とともに歩んだ戦後	16:42
6	安里 祥徳(あさと しょうとく)	ペルー	アメリカでの捕虜生活と私の戦後	29:29
7	松田 敬子(まつだ けいこ)	読谷村	生活改善で婦人会とともに歩んだ戦後	17:55
8	伊波 寛裕(いは かんゆう)	読谷村	ふるさとの学校再建	21:58
9	奥田良正光(おくだら しょうこう)	うるま市平安座	「平安座市」と私の戦後	22:55
10	伊藤 トミ(いとう とみ)	うるま市平安座	変わりゆくシマの暮らしと 残したい宝物	12:01
11	長濱 智恵子(ながはま ちえこ)	与那国町	与那国の好景気時代と私	17:44
12	大朝 初子(おおとも はつこ)	与那国町	「突き棒漁」を支えた海人の妻	17:23
13	川満 恵清(かわみつ けいせい)	宮古島市	満州での死線乗り越えて	30:00
14	山里 景吉(やまざと けいきち)	宮古島市	サシバとタコツボ塚の思い出	18:35
15	島袋徳次郎(しまぶくろ とくじろう)	名護市	「田井等市」と私の戦後	17:07
16	比嘉 初子(ひが はつこ)	名護市	ヤンバルの暮らしと戦争	12:23
17	中村トミ子(なかむら とみこ)	南風原町	洋裁から始まった私の戦後	12:28
18	古堅 實吉(ふるげん さねよし)	国頭村	司法への道 ~人権と向き合って~	34:17
19	島袋 清徳(しまぶくろ せいとく)	伊江村	伊江島・傷だらけのシマ	23:51
20	内間 亀吉(うちま かめきち)	伊江村	戦中・戦後 伊江島を見つめて	27:25
21	島田 長政(しまだ ながまさ)	石垣市	八重山の大地を切り拓いた台湾系移住者の苦難	21:07
22	正木 讓(まさき ゆずる)	石垣市	休戦・敗戦・終戦と私の戦後	24:22
23	潮平 正道(しおひら まさみち)	石垣市	絵が語る八重山の戦争	23:33
24	島袋 善祐(しまぶくろ ぜんゆう)	沖縄市	アメリカの2つの顔 ~土地接取とハワイ農業研修~	19:06
25	有銘 政夫(ありめ まさお)	サイパン	サイパンからの帰還	23:08
26	砂川 金三(すながわ きんぞう)	宮古島市	遙か海を越えて 私の歩んだ戦後	24:42
27	平良 仁雄(たいら じんゆう)	久米島町	沖縄愛楽園 光と影を語り継ぐ	29:44
28	平良 敏子(たいら としこ)	大宜味村	芭蕉布とともに歩んだ私の人生	20:37
29	平良 啓子(たいら けいこ)	国頭村	「対馬丸」の生き残りとして歩んだ戦後	18:27
30	久場 里重(くば さとしげ)	那覇市	戦場にひとり取り残されて	20:58

2 「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業

(1) 実施目的

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国と日本の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供し、各国・地域の平和教育・平和活動に資するとともに、本事業で培った絆により平和構築のためのネットワーク形成と広く平和のために活動する人材を育成し、事業の成果を平和教育等に継続的に活用する目的で実施しました。

2019（令和元）年から事業が始まり、令和3年度は、韓国、台湾、ベトナム、カンボジアの参加者はオンラインで、広島、長崎、沖縄の参加者は対面で参加するという、ハイブリッド形式で事業を実施しました。

(2) 実施主体

- ・主 催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

(3) 事業期間

- ・2021（令和3）年9月～2022（令和4）年3月18日（金）
- ・共同学習：2021（令和3）年11月22日（月）～11月28日（日）（会場：沖縄空手会館ほか）

(4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	指導者・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺 (ポル・ポト政権下の虐殺)	5名	1名
2	韓国	済州島4.3事件	4名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	2名
5	日本（沖縄県）	沖縄戦	5名	1名
6	日本（広島県）	広島県における原爆投下	5名	1名
7	日本（長崎県）	長崎県における原爆投下	5名	2名

注）学生は、大学生である。通訳は指導者が務めた。

(5) 事業成果

海外からの参加者と沖縄空手会館に参集した日本国内（広島・長崎・沖縄）の参加者をオンラインで繋ぎ、共同学習を実施しました。共同学習では、沖縄戦に関する特別講義のほか、各国・地域から学習テーマの発表及び質疑応答を通して、アジア諸国の学生が戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学びました。

また、共同学習の日程中、日本国内の参加者は沖縄県平和祈念資料館友の会の上原美智子さんによる講話に加え、県平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館、首里第32軍司令部壕跡、首里城跡及び沖縄市戦後文化資料館ヒストリーのフィールドワークに参加し、沖縄戦と戦後復興の歩みを学びました。

共同学習最終日には、「平和への思い」発信・交流・継承事業成果報告会を実施し、各国・地域からのアクションプログラム発表のほか、「各地域の継承の現状とこれから」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

共同学習終了後は、参加者が事後学習を行い、沖縄県の児童・生徒のために、各地域の戦争や紛争を学ぶことができる平和学習教材を作成してもらい、WEB公開を行いました。



オンライン共同学習の様子



広島チーム

長崎チーム

沖縄チーム



オンラインメンバーと全員集合

- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動等
- VII その他業務
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和祈念館
- X 友会活動報告
- XI 関係条例・規則・要綱
- XII 年度状況別

3 学芸員人材育成事業

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部振り替えた研修もある。

○ 令和3年度採用の学芸員に、沖縄戦及び平和に関する専門性を高めるための人材育成を行う。

内容：①資料保存管理等に関する業務の育成指導

- ・ 講義（収蔵品に関する現状と課題）
- ・ 館内実習（収蔵品の保存・整理・分類、データベース化、利活用）
- ・ 館外実習（保存法に関する専門館での研修）

②調査・研究等に関する業務の育成指導

- ・ 講義（沖縄戦研究の現状と課題、レファレンス対応法）
- ・ 館内実習（資料館の沿革と常設展示室の案内・解説法）
- ・ 館外実習（戦争体験者からの聞き取り調査、戦争遺跡の現地研修）

③企画展等に関する業務の育成指導

- ・ 講義（企画展等の実施状況・内容）
- ・ 館内実習（企画展の企画立案・資料及び図録作成・展示作業）
- ・ 館外実習（類似館での平和事業調査・研修）



アカナちゃん

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1		団体入館者数 ※1		入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数※1	入館者総数※2	
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人				小人
2021年4月	2,352 (170)	436 (7)	2,788 (177)	180 (91)	3,413 (1745)	2,532 (261)	3,849 (1752)	6,381 (2013)	30	213	7,901
2021年5月	2,089 (79)	391 (66)	2,480 (145)	201 (151)	1,724 (1429)	2,290 (230)	2,115 (1495)	4,405 (1725)	22	200	5,968
2021年6月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2021年7月	661 (12)	80 (0)	741 (12)	66 (66)	764 (764)	727 (78)	844 (764)	1,571 (842)	9	175	2,485
2021年8月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2021年9月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2021年10月	2,454 (102)	310 (2)	2,764 (104)	197 (109)	2,383 (1378)	2,651 (211)	2,693 (1380)	5,344 (1591)	31	172	7,905
2021年11月	3,659 (308)	500 (85)	4,159 (393)	883 (147)	13,209 (1469)	4,542 (455)	13,709 (1554)	18,251 (2009)	30	608	19,808
2021年12月	3,390 (248)	503 (8)	3,893 (256)	1,399 (219)	10,552 (1293)	4,789 (467)	11,055 (1301)	15,844 (1768)	28	566	16,835
2022年1月	1,536 (100)	259 (0)	1,795 (100)	23 (0)	479 (0)	1,559 (100)	738 (0)	2,297 (100)	28	82	4,035
2022年2月	1,544 (64)	377 (0)	1,921 (64)	292 (17)	160 (104)	1,836 (81)	537 (104)	2,373 (185)	28	85	2,373※3
2022年3月	3,629 (185)	1,500 (20)	5,129 (205)	447 (108)	4,725 (791)	4,076 (293)	6,225 (811)	10,301 (1104)	31	332	12,407
合計	21,314 (1268)	4,356 (188)	25,670 (1456)	3,688 (908)	37,409 (8973)	25,002 (2176)	41,765 (9161)	66,767 (11337)	237	282	79,717

() は内数で無料入場者数

※1は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

※3は2022年2月に出入口設置の機器が故障したため、※1と同数を記載

- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動等
- VII その他
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和祈念館
- X 友の会活動報告
- XI 関係条例・規則・要綱
- XII 年度状況別

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											※無料 観覧者	観覧者 総数	開館日数	平均	
	観覧券種別						出身別									計
	大人個人(%)		小人個人(%)		小人団体(%)		県内	県外	外国							
	大人個人(%)	小人個人(%)	大人団体(%)	小人団体(%)	小人個人(%)											
2000年度	161,361(38)	71,140(17)	24,658(6)	163,644(39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215		481,018	310	1,552			
2001年度	111,197(37)	62,902(21)	18,195(6)	107,802(36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221(29)	40,624(12)	17,362(5)	184,047(54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015(27)	37,618(10)	17,236(5)	214,535(58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980(26)	33,004(9)	16,329(5)	215,603(60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355(25)	35,303(9)	18,972(5)	230,791(61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813(26)	33,767(8)	21,342(5)	253,821(61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767(26)	35,679(9)	20,563(5)	245,093(60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789(24)	32,933(8)	18,998(5)	252,573(63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412(23)	34,241(9)	16,252(4)	237,756(64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124(22)	31,767(9)	15,092(4)	234,255(65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648(19)	28,662(8)	11,586(3)	249,400(70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341(21)	29,600(9)	10,469(3)	227,827(67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165(22)	26,641(8)	11,004(3)	232,295(68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529(21)	27,000(8)	10,276(3)	223,917(68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
2015年度	78,673(23)	29,449(9)	12,481(4)	218,478(64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037				
2016年度	75,390(22)	27,261(8)	12,454(4)	226,001(66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046				
2017年度	77,008(24)	26,842(8)	13,428(4)	209,461(64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002				
2018年度	73,156(23)	26,482(8)	13,434(4)	204,277(64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999				
2019年度	75,543(25)	23,743(8)	11,951(4)	194,972(64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965				
2020年度	21,096(52)	1,838(5)	4,053(10)	13,485(33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171				
2021年度	20,046(36)	2,780(5)	4,168(8)	28,436(51)	1,732	52,002	1,696	55,430	11,337	66,767	237	282				
累計	7,232,677											706,572	7,939,249	7,375	1,077	

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者(小人)観覧状況

月	児童・生徒・学生												その他 団体見学者 (小人)	合 計			
	県 内						県 外										
	小学校	中学校	高等学校	大 学	計		小学校	中学校	高等学校	大 学	計						
4月	団体数	12 (12)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	2 (1)	11 (1)	0 (0)	13 (13)	12 (12)	5 (4)	11 (11)	0 (0)	28 (16)	0 (0)
	人 数	1,341 (1,341)	400 (400)	0 (0)	0 (0)	1,741 (1,741)	0 (0)	47 (4)	1,625 (1,625)	0 (0)	1,672 (1,672)	1,341 (1,341)	447 (404)	1,625 (1,745)	0 (0)	3,413 (1,745)	0 (0)
5月	団体数	11 (11)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	3 (2)	0 (0)	14 (13)	0 (0)
	人 数	1,104 (1,104)	0 (0)	325 (325)	0 (0)	1,429 (1,429)	0 (0)	0 (0)	295 (295)	0 (0)	295 (295)	1,104 (1,104)	0 (0)	620 (325)	0 (0)	1,724 (1,429)	0 (0)
6月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	人 数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
7月	団体数	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	2 (2)	12 (12)
	人 数	745 (745)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	758 (758)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	745 (745)	13 (13)	0 (0)	758 (758)	6 (6)	764 (764)
8月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	人 数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
9月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	人 数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
10月	団体数	11 (11)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	7 (7)	11 (11)	3 (3)	8 (8)	22 (15)	1 (1)	23 (16)
	人 数	432 (432)	113 (113)	816 (816)	0 (0)	1,361 (1,361)	0 (0)	72 (72)	933 (933)	0 (0)	1,005 (1,005)	432 (432)	185 (113)	1,749 (816)	0 (0)	2,366 (1,361)	17 (17)
11月	団体数	19 (19)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	8 (8)	57 (57)	1 (1)	66 (66)	19 (19)	3 (3)	1 (1)	88 (23)	0 (0)	88 (23)
	人 数	1,248 (1,248)	206 (206)	0 (0)	0 (0)	1,454 (1,454)	0 (0)	986 (986)	10,750 (10,750)	19 (19)	11,755 (11,755)	1,248 (1,248)	1,192 (206)	10,750 (15)	19 (1469)	13,209 (1,469)	0 (0)
12月	団体数	20 (20)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	12 (12)	55 (55)	1 (1)	68 (68)	20 (20)	15 (3)	58 (3)	94 (26)	1 (1)	95 (26)
	人 数	724 (724)	531 (512)	57 (57)	0 (0)	1,312 (1,293)	0 (0)	1,191 (1,191)	8,031 (8,031)	18 (18)	9,240 (9,240)	724 (724)	1,722 (512)	8,088 (57)	18 (1293)	10,552 (1,293)	0 (0)
1月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
	人 数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	479 (479)	0 (0)	479 (479)	0 (0)	0 (0)	479 (0)	0 (0)	479 (0)	0 (0)
2月	団体数	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	5 (4)	0 (0)	5 (4)
	人 数	105 (104)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	105 (104)	0 (0)	0 (0)	55 (55)	0 (0)	55 (55)	105 (104)	0 (0)	55 (104)	0 (0)	160 (104)	0 (0)
3月	団体数	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	9 (9)	20 (20)	0 (0)	29 (29)	6 (6)	10 (1)	21 (1)	37 (8)	1 (1)	38 (9)
	人 数	416 (416)	330 (330)	45 (45)	0 (0)	791 (791)	0 (0)	1,538 (1,538)	2,396 (2,396)	0 (0)	3,934 (3,934)	416 (416)	1,868 (330)	2,441 (45)	0 (0)	4,725 (791)	0 (0)
人数 合計	団体数	92 (92)	12 (12)	9 (9)	0 (0)	113 (113)	0 (0)	33 (33)	152 (152)	2 (2)	187 (187)	92 (92)	45 (13)	161 (110)	300 (115)	5 (4)	305 (119)
	人 数	6,115 (6,114)	1,593 (1,574)	1,243 (1,243)	0 (0)	8,951 (8,931)	0 (0)	3,834 (4)	24,564 (15)	37 (37)	28,435 (19)	6,115 (6,114)	5,427 (1,578)	25,807 (12,58)	37 (0)	37,386 (8,950)	23 (23)

()は内数で無料入館者数

- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動等
- VII その他の事業
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和記念館
- X 友会の報告
- XI 関係条例・規則・要綱
- XII 年度状況別

4 市町村別団体入館者数

市町村名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		統 計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	那 覇 市	19	1,949	3	597	1	21	0	0	23	2,567	5	398	28	2,965
2	うるま市	5	351	1	173	4	615	0	0	10	1,139	0	85	10	1,224
3	宜野湾市	2	209	0	0	0	0	0	0	2	209	2	51	4	260
4	宮古島市	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0	2	1	6
5	石 垣 市	4	93	0	0	0	0	0	0	4	93	0	15	4	108
6	浦 添 市	3	365	0	0	1	16	0	0	4	381	2	76	6	457
7	名 護 市	10	537	1	24	0	0	0	0	11	561	0	56	11	617
8	糸 満 市	3	255	2	221	0	0	0	0	5	476	2	120	7	596
9	沖 縄 市	4	309	1	80	1	275	0	0	6	664	2	73	8	737
10	豊見城市	6	634	0	0	0	0	0	0	6	634	1	40	7	674
11	南 城 市	3	296	0	0	1	13	0	0	4	309	0	18	4	327
12	国 頭 村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	4	1	17
13	大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	東 村	1	6	0	0	0	0	0	0	1	6	0	3	1	9
15	今帰仁村	1	26	0	0	0	0	0	0	1	26	0	4	1	30
16	本 部 町	2	97	0	0	0	0	0	0	2	97	0	10	2	107
17	恩 納 村	2	25	0	0	0	0	0	0	2	25	0	5	2	30
18	宜野座村	3	89	0	0	0	0	0	0	3	89	0	10	3	99
19	金 武 町	3	129	0	0	0	0	0	0	3	129	0	15	3	144
20	伊 江 村	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21	0	4	1	25
21	読 谷 村	0	0	0	0	1	303	0	0	1	303	0	16	1	319
22	嘉手納町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	155	5	155
23	北 谷 町	1	68	1	197	0	0	0	0	2	265	0	14	2	279
24	北中城村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	中 城 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	西 原 町	1	151	0	0	0	0	0	0	1	151	0	8	1	159
27	八重瀬町	1	67	0	0	0	0	0	0	1	67	0	3	1	70
28	与那原町	1	92	0	0	0	0	0	0	1	92	0	5	1	97
29	南風原町	1	135	1	279	0	0	0	0	2	414	1	50	3	464
30	久米島町	4	84	0	0	0	0	0	0	4	84	0	14	4	98
31	渡嘉敷村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	3	1	18
32	座間味村	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16	0	4	1	20
33	粟 国 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	南大東村	0	0	1	13	0	0	0	0	1	13	0	4	1	17
36	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	伊平屋村	1	14	0	0	0	0	0	0	1	14	0	5	1	19
38	伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	竹 富 町	3	36	1	9	0	0	0	0	4	45	0	16	4	61
41	与那国町	3	29	0	0	0	0	0	0	3	29	0	9	3	38
合 計		92	6,115	12	1,593	9	1,243	0	0	113	8,951	20	1,295	133	10,246

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		統 計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	0	0	0	0	12	1,682	0	0	12	1,682	0	93	12	1,775
2 青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 宮城県	0	0	0	0	4	297	0	0	4	297	0	15	4	312
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 福島県	0	0	0	0	5	465	0	0	5	465	0	32	5	497
8 茨城県	0	0	0	0	4	877	0	0	4	877	0	54	4	931
9 栃木県	0	0	0	0	4	919	0	0	4	919	0	51	4	970
10 群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 埼玉県	0	0	0	0	16	3,621	0	0	16	3,621	2	266	18	3,887
12 千葉県	0	0	0	0	5	1,123	0	0	5	1,123	0	57	5	1,180
13 東京都	0	0	8	966	25	3,966	0	0	33	4,932	14	387	47	5,319
14 神奈川県	0	0	1	17	19	4,020	0	0	20	4,037	5	210	25	4,247
15 新潟県	0	0	0	0	2	379	0	0	2	379	0	15	2	394
16 富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 山梨県	0	0	1	88	2	439	0	0	3	527	1	38	4	565
20 長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 静岡県	0	0	0	0	3	445	0	0	3	445	1	38	4	483
23 愛知県	0	0	6	928	20	2,619	1	19	27	3,566	5	241	32	3,807
24 三重県	0	0	0	0	2	83	0	0	2	83	0	9	2	92
25 滋賀県	0	0	1	4	0	0	0	0	1	4	1	6	2	10
26 京都府	0	0	0	0	4	160	0	0	4	160	6	33	10	193
27 大阪府	0	0	5	709	14	1,836	0	0	19	2,545	11	185	30	2,730
28 兵庫県	0	0	1	166	5	949	0	0	6	1,115	6	101	12	1,216
29 奈良県	0	0	0	0	1	58	0	0	1	58	3	16	4	74
30 和歌山県	0	0	0	0	0	0	1	18	1	18	0	2	1	20
31 鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 岡山県	0	0	1	62	0	0	0	0	1	62	1	9	2	71
34 広島県	0	0	5	473	4	541	0	0	9	1,014	0	61	9	1,075
35 山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 福岡県	0	0	2	233	1	85	0	0	3	318	3	478	6	796
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42 長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43 熊本県	0	0	2	188	0	0	0	0	2	188	0	16	2	204
44 大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3
45 宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46 鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	33	3,834	152	25,564	2	37	187	28,435	60	2,416	247	30,851
47 沖縄県	92	6,115	12	1,593	9	1,243	0	0	113	82,951	20	1,295	133	10,246

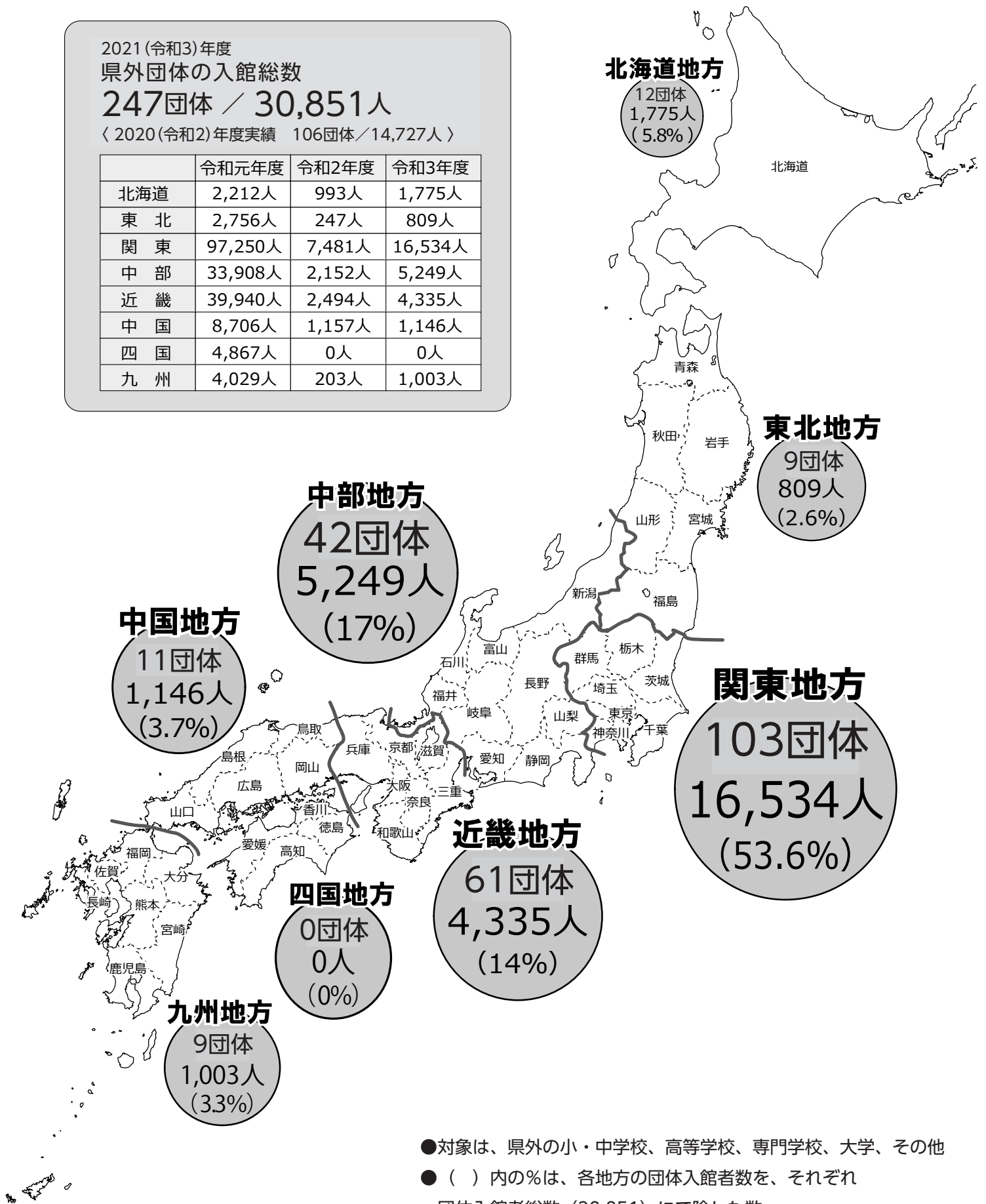
※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

2021(令和3)年度
 県外団体の入館総数

247団体 / 30,851人

(2020(令和2)年度実績 106団体/14,727人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
北海道	2,212人	993人	1,775人
東北	2,756人	247人	809人
関東	97,250人	7,481人	16,534人
中部	33,908人	2,152人	5,249人
近畿	39,940人	2,494人	4,335人
中国	8,706人	1,157人	1,146人
四国	4,867人	0人	0人
九州	4,029人	203人	1,003人



- 対象は、県外の小・中学校、高等学校、専門学校、大学、その他
- ()内の%は、各地方の団体入館者数を、それぞれ団体入館者総数(30,851)にて除した数

Ⅷ 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ①慰霊碑建立 ②八重山平和祈念館建設 ③マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業 ④マラリア死没者慰藉のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県立平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ面積：520㎡
- ② 各室面積
 - 第1展示室：130㎡
 - 第2展示室：120㎡
 - 保管室：20㎡
 - 図書室：30㎡
 - 会議室：45㎡
 - 事務室：30㎡



八重山平和祈念館外観

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人 (小学～大学生)	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ①アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ②沖縄戦と八重山
- ③戦争マラリアの悲劇
- ④マラリア根絶に向かって
- ⑤戦争マラリア援護会の活動
- ⑥八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示の内容

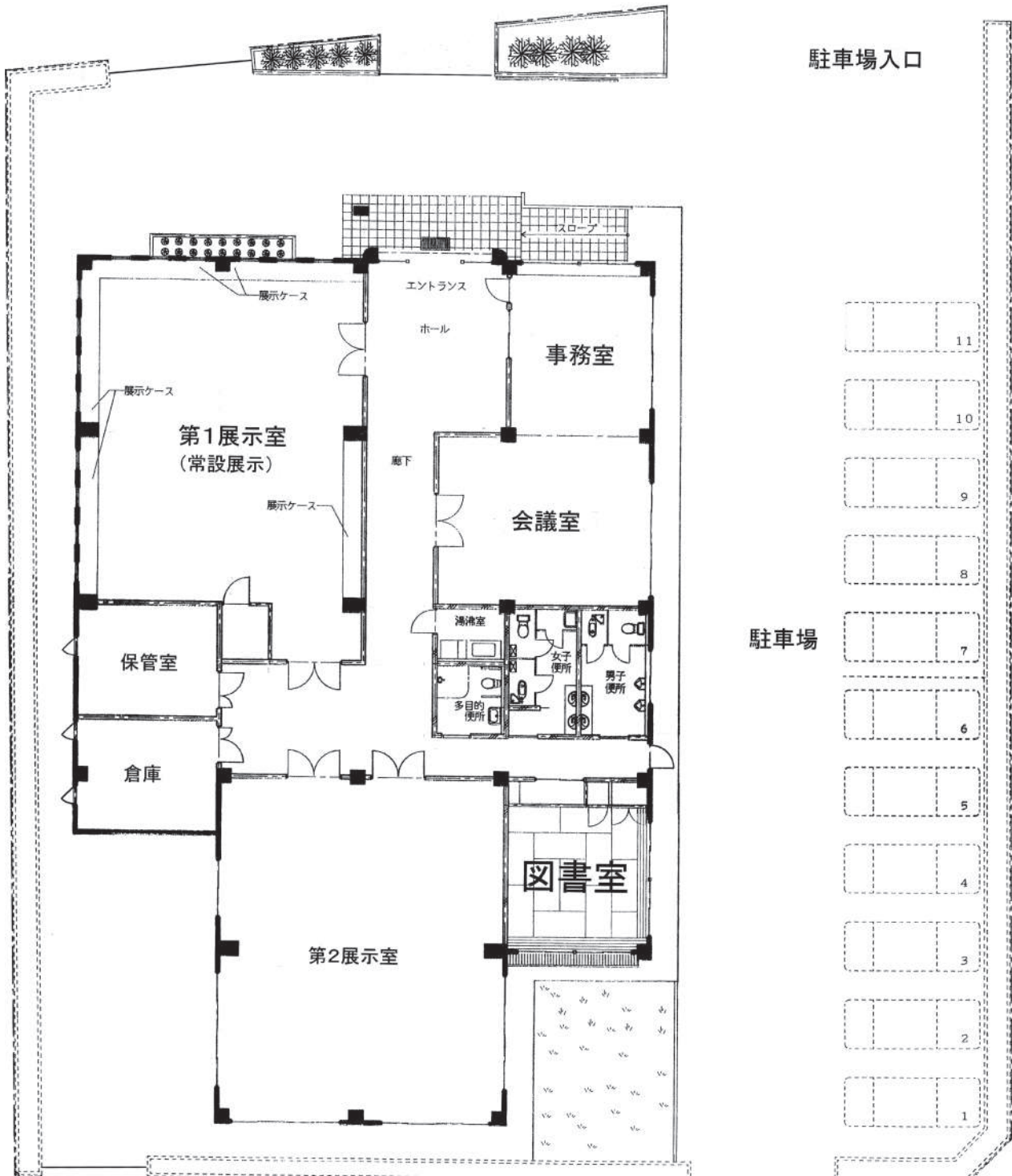
- ①写真、地図、絵のパネル等
- ②戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



うりずんには、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ当館の来館者を出迎えてくれます

2 施設

平面図



- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 画
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 活 用 事 業
- V 事 教 育 普 業 及
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 其 他 業 的
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 報 告 会
- XI 規 則 要 綱
- XII 入 館 状 況 別

3 事業概要

(1) 展示活動

①企画展「^{イクサ ユー}戦世の始まりから^{ヘイフ ユー}未来の平和世を考える ～戦争は突然やってこない～」



満州事変を起点とし日中戦争、アジア・太平洋戦争を経て敗戦にいたるまでの15年を十五年戦争と呼ぶことから、沖縄戦についても満州事変から語られることが多いです。しかし、満州事変以前、日露戦争、日清戦争と歴史を遡り、琉球処分へとつながる1874(明治7)年の台湾出兵が近世の戦世の始まりと言われています。そのきっかけとなった宮古島島民事件から150年の節目となる年に、1870年代以降の世界、日本、沖縄・八重山の歴史を振り返り、未来の平和世を考える機会になればと企画しました。

展示にあたり、石垣市在住の個人の方が保管している資料「婦人会記録(字新川)」を借用し展示しました。戦前の婦人会活動が記録された貴重な資料を通して、日常生活が否応なく戦時体制に巻き込まれていく様子を展示しました。また、本館からは展示用手榴弾を借用しました。実物資料に直に触れることで、来館者が少しでも戦世を知るきっかけとなるよう工夫しました。

【期間】2021(令和3)年12月15日(水)～2022(令和4)年1月30日(日)

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】606名



観覧の様子(展示用手榴弾を手に取る児童)



企画展を観覧する市民

来場者の感想(アンケートより)

- 当時の新聞や教科書は大変貴重な資料で、証言とともに展示されているため、現実のことに認識を新たにしました。(女性、県外)
- 今とは違う日本地図や、普段触ることのない手榴弾を触ることができたので良かったです。(男性、13歳、県外)
- 小中高校と学校で戦争についてふれてきた上に、地域の高齢者から話を聞く機会もありましたが、このようにきれいにまとめられ、実物を豊富に見られたのは良かったです。(男性、24歳、八重山地域内)
- 本島からみる戦争と八重山からみる視点が違って参考になりました。中国や台湾との関係、日本政府の対応についても知られていない事実が多くあるなと感じました。歴史の真実を後世に。すばらしい企画です。(男性、68歳、県内)
- 太平洋戦争を牡丹社事件からとらえたのはよかった。しめくくりの台湾事件と宮古住人との交流の話に救われるいい展示会でした。(女性、65歳、八重山地域内)

(2) 平和教育活動

① 初任者教諭対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、小中学校の初任者教諭を対象とした見学説明会を実施しました。のべ19名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行いました。

説明会后、八重山教育事務所と意見交換を行い、平和学習担当教諭や八重山地域外からの転入教諭にも見学説明会のニーズがあると思われるとのことでしたので、次年度の開催時に改善していく予定です。

【期間】2021（令和3）年10月7日（木）、11月18日（木）



研修の様子



研修の様子

② 第31回「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行いました。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧していました。

【期間】2021（令和3）年7月14日（水）～21日（水）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】114名



展示・観覧の様子

(3) 調査研究活動

①戦争体験者の証言収集

氏名	生まれ年	出身地	備考
ほり やすえ 保里 安枝 (旧姓：たもと)	大正 10 年	石垣市	昭和 8 年の台風のこと (企画展に展示)
たもと ひろし 田本 浩	大正 13 年	石垣市	
まさき ゆずる 正木 譲	昭和 9 年	石垣市	シンガポール陥落と飛行機墜落 (企画展に展示)
おおもり きよこ 大盛 清子	昭和 9 年	石垣市	白水へ向かう途中、機銃掃射に襲われる (企画展に展示)
よなぐに せつこ 与那国 節子	昭和 9 年	石垣市	機銃掃射の火の玉が顔のそばをかすめる (企画展に展示)
しまむら おさむ 島村 修	大正 15 年	竹富町 (波照間島)	日中戦争に出征した兄のこと、戦争マラリアで亡くなった親族のこと、現地召集された自身の体験談など (聞き取り調査)



大盛清子さん (左)、与那国節子さん (右)



保里安枝さん(左)、田本徹さん(中)、田本浩さん(右)

②戦跡調査

真栄里の戦争遺跡群 (石垣市)

八重山諸島に配備された陸軍第 45 旅団は、米軍は石垣島南岸から上陸してくると予想し、多くの陣地や壕を築きました。市街地やリゾートの開発のため埋められたものもあり、今回の調査では、多田浜 1 カ所、真栄里ビーチ (起沖電側) 1 カ所を確認しました。

【調査日】 令和 3 年 4 月 12 日 (月)



真栄里ビーチの銃眼跡 (遠景)。真ん中に人が出入りできる穴が開いているのがわかる。満潮時には海中に隠れてしまう。

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 画 業 務
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 及 業 務
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 その 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 係 条 例 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別

2020(令和2)年度、2021(令和3)年度の新型コロナ対策による臨時休館状況

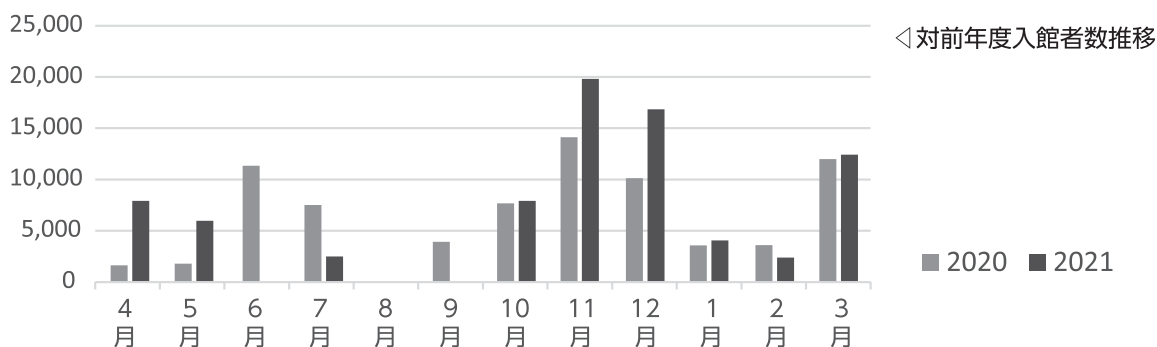
平和祈念資料館入館者数 ※平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数。

2020年度

月	常設展示室(有料)	総入館者数※
4月	577	1,627
5月	211	1,768
6月	3,872	11,329
7月	4,135	7,507
8月	0	0
9月	2,054	3,907
10月	4,679	7,670
11月	11,194	14,116
12月	7,378	10,128
1月	1,858	3,563
2月	1,528	3,585
3月	10,090	11,976
合計	47,576	77,176

2021年度

月	常設展示室(有料)	総入館者数※
4月	6,381	7,901
5月	4,405	5,968
6月	0	0
7月	1,571	2,485
8月	0	0
9月	0	0
10月	5,344	7,905
11月	18,251	19,808
12月	15,844	16,835
1月	2,297	4,035
2月	2,373	2,373
3月	10,301	12,407
合計	66,767	79,717



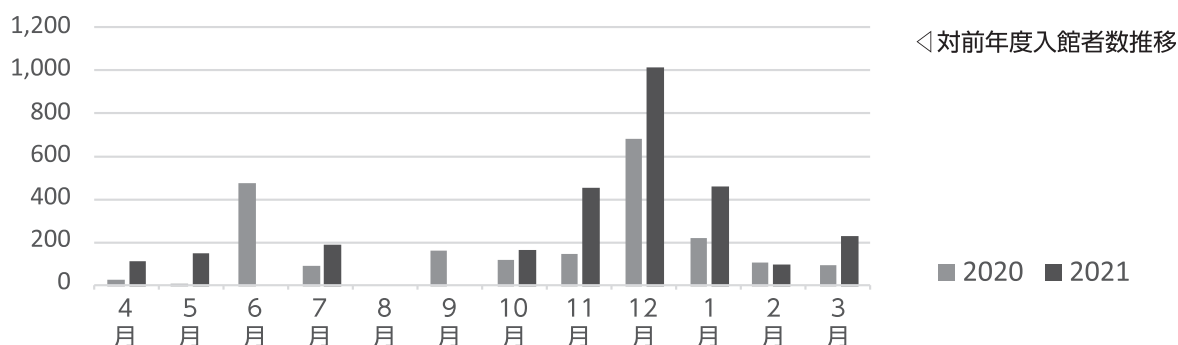
八重山平和祈念館入館者数 ※企画展等の来館者を含む人数

2020年度

月	常設展示室(有料)	総入館者数※
4月	30	30
5月	13	13
6月	309	478
7月	93	93
8月	0	0
9月	84	166
10月	123	123
11月	149	149
12月	435	682
1月	97	224
2月	50	110
3月	97	97
合計	1,480	2,165

2021年度

月	常設展示室(有料)	総入館者数※
4月	117	117
5月	154	154
6月	0	0
7月	77	191
8月	0	0
9月	0	0
10月	167	167
11月	455	455
12月	645	1,012
1月	223	462
2月	99	99
3月	232	232
合計	2,169	2,889



X 沖縄県平和祈念資料館 友の会

1 活動紹介

沖縄県平和祈念資料館友の会(以下、「友の会」という)は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動を通して、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるとともに学習会等(平和講話、戦跡フィールドワーク、講演会、オンライン平和講話、研修会)の活動を行っています。

活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド(平和祈念公園地域の案内等)
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



平和講話の講師の皆さん
(写真提供:南城市立大里中学校)

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会
 所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1
 TEL：098-997-3844 (沖縄県平和祈念資料館と同じ)
 FAX：098-997-3947 (沖縄県平和祈念資料館と同じ)

- * 学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。
- * 決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。
- * 電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 5,000～7,000円(時間により変動)
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 講話・ガイド活動状況 ※新型コロナウイルス感染防止の中、下記の活動を行いました。

団 体	実施件数	(前年度比)	実施人数	(前年度比)	派遣講師	(前年度比)
高等学校	8	(2)	3711	(1693)	14	(3)
中学校	7	(1)	1816	(-233)	11	(4)
小学校	3	(2)	228	(123)	2	(1)
その他	7	(1)	449	(-1381)	9	(3)
合 計	25	(6)	6204	(202)	36	(11)

※キャンセル、日程変更件数 105 件

I 概
 要
 II 事
 調
 査
 研
 究
 業
 界
 III 事
 展
 示
 企
 業
 画
 IV 活
 資
 料
 収
 集
 業
 界
 V 事
 教
 育
 普
 業
 及
 VI 出
 広
 報
 版
 活
 動
 等
 VII 事
 そ
 の
 他
 業
 の
 VIII 入
 館
 者
 状
 況
 IX 祈
 八
 重
 山
 平
 和
 館
 X 活
 友
 動
 の
 報
 告
 会
 XI 規
 則
 係
 条
 例
 ・
 要
 綱
 ・
 XII 入
 年
 館
 度
 状
 況
 別

5 2021（令和3）年度 活動内容

(1) 第16回友の会定期総会・学習会

日 時：2021（令和3）年11月20日（土） 13：00～17：00

場 所：沖縄県平和祈念資料館祈念ホール

内 容：①総 会 13：00～13：30

参加者：14名



友の会定期総会



上原美智子副会長による開会挨拶

②学習会 14：00～17：00

講 話：「米国における沖縄戦関連資料について」

講 師：仲本和彦氏 沖縄県文化振興会（公文書管理課資料公開班長 認証アーキビスト）

参加者：40名

内 容：仲本氏は、米国メリーランド大学院卒業後、沖縄県公文書館の専門員として、長年、米国における沖縄戦及び米国の沖縄統治に関する資料の調査収集に携わってきました。現在、沖縄県公文書館には、文書400万頁、写真12万点、動画2,500点、空中写真3,500点以上の記録が保管されています。学習会では、①米国での資料収集の成果～ビジュアル資料を中心に～、②沖縄県公文書館におけるビジュアル資料の利用、③今後の課題などについて報告していただきました。特に、「米軍作戦報告書を読み解く」は、米軍が綿密に計画を立て、沖縄を調査研究していたかがわかる資料で、現在の市町村の戦跡調査においても役に立つ興味深い内容でした。



学習会

<講師紹介：仲本 和彦>

【プロフィール】

米メリーランド大学大学院卒業

記録管理学会員

外務省外交記録公開推進委員会外部有識者委員
(2010年～2012年)、

沖縄県史各論編現代部会専門委員、

八重瀬町史戦争編専門部会専門委員、

読谷村史編集委員会委員



XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。

- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するもので

あること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第17条 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第18条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第21条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成31年3月29日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 (分館を除く)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,540円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

- (1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出し

なければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。 当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。

(3) 使用者が、ホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。 免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
- (2) 騒音又は大声を発生し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
- (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
- (5) 許可された場所以外の場所への立入り
- (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
- (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
- (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第16号様式)によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使 用 料		
ホ ー ル	舞台器具	演台	1台	300円	
		司会者卓	1台	150円	
		花台	1台	100円	
		金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円	
		ワイヤレスマイク	1本	450円	
		カセットテープレコーダー	1台	300円	
		CDプレーヤー	1台	500円	
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円	
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円	
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
		アッパーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	360円	
		ロアーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	300円	
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
		フォロースポットライト（1KW）	1式	100円	
	その他	映写機16mm	1台	1,260円	
		スライドプロジェクター	1台	520円	
	会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
			ワイヤレスマイク	1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円	
CDプレーヤー			1台	400円	
ビデオデッキ（VHS）			1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円	
		展示ケース（小）	1台	500円	

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホ ー ル	1時間につき	2,120円
	展 示 室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補 則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館(以下「資料館」という。)の所蔵する資料(以下「貸出資料」という。)の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則(以下「規則」という。)第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう(別紙1)。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう(別紙2)。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう(別紙3)。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう(別紙4)。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう(別紙5)。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう(別紙6)。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長(以下「資料館長」という。)に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書(第14号様式)
 - (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書(第1号様式)
 - (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書(第2号様式)
 - (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書(第3号様式)
 - (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書(第4号様式)
- 2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書を提出しなければならない。
- 3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。
- 4 申請者は、あらかじめFAXで申請を行い、後日原本を送付するものとする。

(貸出の許可)

第4条 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

- 2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

(1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証(第15号様式)

(2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証(第5号様式)

2 前項の許可証には条件を付することができる。

(貸出期間)

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

(貸出数量)

第7条 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

(1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。

(2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。

(3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

(費用負担)

第8条 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

(貸出資料の保管及び禁止事項等)

第9条 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)は、貸出を受けた者(以下「利用者」という。)が、責任をもって保管しなければならない。

2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。

3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。

4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。

5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

(貸出資料の返還)

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

(報告書の提出について)

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書(第6号様式)を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

(許可の取り消し)

第12条 資料館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附 則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル ・ 沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品 ・ 世界人権宣言パネル
資料名	
数 量	点 (20点以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで
申請理由	

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 及 業 務
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 祈 念 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 係 条 例 要 綱
- XII 入 館 度 状 況 別

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	種 別	資 料 名	数	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

子や孫のつなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望する地域版セットに○をつけて下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・中部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・那覇 (南部) 地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・久米島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・宮古島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・石垣島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 2 点、証言集 1 2 点) ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)
申請理由	(申請理由の記入欄)

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 及 業 務
- VI 出 広 報 版 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 祈 念 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 ・ 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望するキットに○をつけて下さい。 ・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 () ・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 () ・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 () ・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする(借用、返却の日を含む)
申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：

(担当者：)

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	希望するビデオの番号を記入して下さい。 ・沖縄戦体験証言ビデオ () ・平和のウムイDVD () ・日系二世がみた戦中・戦後DVD () ・戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD 1名収録」 1枚で貸出 () ・住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ()
本 数	本 (5本以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする
申請理由	

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 事 業
- V 事 教 育 普 業 及
- VI 出 広 報 版 活 動 等
- VII 事 所 他 業 の
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館 和
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 係 条 例 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。 2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原形に変更を加えてはならない。 5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 貸出申請者は貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。 10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。

〈別紙〉

貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日
 団体名
 代表者
 住 所 〒
 電 話
 担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(点)	
	2 沖縄戦写真パネル	(点)	
	3 沖縄戦の絵パネル	(点)	
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(点)	
	5 世界人権宣言パネル	(点)	
	6 平和のウムイ地域版セット	(セット)	
	7 平和学習キット	(セット)	
利用状況 および感想			

*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後1週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1
 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所
氏 名
電話番号

保証人
住 所
氏 名
電話番号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く）

の資料について、貸出しを申請します。

八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保管期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
貸出申請理由	

資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県知事 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	沖縄戦実物資料
数 量	点
規 格	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日（ ）から 令和 年 月 日（ ）まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 目的以外に使用しないこと。 2 貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 3 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 5 貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

<別紙①>

貸出許可資料明細

殿

沖縄県知事 印
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項

(趣旨)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用（以下「利用等」という。）の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項における用語の意義は次の各号に定めるところによる。

- (1) 資料 資料館が保管する原資料等および写真資料をいう。
また資料館の建物自体の内外観もこれに含むものとする。
 - (2) 撮影 資料を被写体として撮影した静止画（スチル写真）や動画（映画、テレビ、ビデオ等）を記録することをいう。
 - (3) 複製 資料を被写体として、複写、印刷物、レプリカ等を作成することをいう。
 - (4) 掲載 資料の複製を紙媒体に掲載することをいう。
 - (5) 放映 資料の複製を電子媒体で放映することをいう。
 - (6) 利用 講演会、朗読会、コンサートなどにおいて資料を利用することをいう。
- 2 第1項の第1号及び第3号については、資料館が保管する電子データを提供することを含むものとする。

(許可の基準)

第3条 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認めた場合において資料の利用等を許可する。

2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。

- (1) 資料の保存上、悪影響の生ずる可能性がある場合。
- (2) 営利目的等、対価を得て、一部もしくは限られた範囲のみの使用が認められる場合。
- (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (4) 過去に許可条件に違反した事実があると認められる場合。
- (5) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でないと認められる場合。

(許可申請)

第4条 資料の利用等の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して館長に利用開始14日間前までに、申請しなければならない。ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

(審査および決定)

第5条 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨および内容
- (2) 事業の主体者
- (3) その他必要な事項

(許可書の交付)

第6条 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書(第2号様式)を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(報告書の提出)

第7条 申請者は資料の利用等の完了後、速やかに使用状況報告書(第3号様式)に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

第8条 資料の利用等に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

第9条 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 申請書に記載した目的以外に使用すること。
- (2) 利用等の許可を得た資料を転貸しすること。
- (3) 資料等の使用により利益を得ること。

(許可の取り消し)

第10条 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

下記により保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）を許可くださるようお願いします。
申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類（企画書等、事業の内容がわかるもの）
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

* 申請の際には返信用封筒（切手貼付）を添えて、利用開始14日間前までに申請すること。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書

沖平第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付けで申請のあった保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）について、下記のとおり許可します。

記

1 資料名

2 用途（撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）

3 提供成果品

*許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館提供」と明記すること。
- ③児童・生徒平和メッセージは、作品オリジナルのスタイルを変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品および「使用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

使用状況報告書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

令和 年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、
下記のとおり報告いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 (撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載)
- 4 使用完了日
- 5 提供成果品

〈備考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

Ⅻ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大 人 個 人 (%)	大 人 団 体 (%)	小 人 個 人 (%)	小 人 団 体 (%)	計	県 内	県 外	外 国	計							
昭和50年度	13,784 (75)	2,025 (11)	1,759 (9)	900 (5)	18,468					18,468		18,468	248	74		
51年度	9,520 (53)	4,200 (23)	963 (5)	3,408 (19)	18,091					18,091		18,091	306	59		
52年度	10,480 (54)	4,264 (22)	818 (4)	3,932 (20)	19,494					19,494	2,553	22,047	307	72		
53年度	14,022 (40)	4,855 (14)	1,877 (5)	14,097 (41)	34,851					34,851		34,851	220	158		
54年度	22,288 (41)	6,307 (12)	3,600 (7)	21,513 (40)	53,708					53,708		53,708	305	176		
55年度	20,727 (39)	5,830 (11)	3,109 (6)	23,762 (44)	53,428	3,506	22,746	176		53,428		53,428	307	174		
56年度	20,215 (34)	5,985 (10)	3,367 (6)	29,211 (50)	58,778	33,671	24,797	310		58,778	1,786	60,564	304	199		
57年度	26,357 (36)	7,077 (10)	4,243 (6)	34,584 (48)	72,261	33,709	38,030	522		72,261	1,385	73,646	307	240		
58年度	26,359 (35)	8,051 (11)	4,827 (6)	36,272 (48)	75,509	34,795	40,029	685		75,509	1,981	77,490	307	252		
59年度	27,265 (34)	9,203 (11)	3,932 (5)	39,791 (50)	80,191	32,646	46,335	1,210		80,191	2,876	83,067	255	326		
60年度	29,888 (31)	13,263 (14)	4,701 (5)	49,073 (50)	96,925	34,993	60,371	1,561		96,925	2,698	99,623	306	326		
61年度	27,529 (27)	13,364 (13)	4,629 (5)	54,622 (55)	100,144	34,783	63,581	1,780		100,144	2,429	102,573	306	335		
62年度	40,566 (34)	14,395 (12)	5,441 (5)	57,976 (49)	118,378	33,298	83,019	2,061		118,378	4,875	123,253	306	403		
63年度	45,058 (34)	16,719 (13)	5,557 (4)	63,910 (49)	131,244	32,819	95,473	2,952		131,244	3,342	134,586	306	440		
平成元年度	35,325 (31)	14,477 (12)	7,016 (6)	59,363 (51)	116,181	27,941	84,600	3,640		116,181	5,663	121,844	307	397		
2年度	29,514 (29)	12,281 (12)	5,950 (6)	52,511 (52)	100,256	22,855	74,010	3,391		100,256	18,362	118,618	306	388		
3年度	26,687 (30)	11,246 (13)	5,279 (6)	45,409 (51)	88,621	20,182	64,938	3,501		88,621	8,893	97,514	305	320		
4年度	26,500 (32)	9,778 (12)	5,661 (7)	40,021 (49)	81,960	17,197	61,011	3,752		81,960	10,930	92,890	307	303		
5年度	22,667 (28)	11,191 (14)	5,683 (7)	41,461 (51)	81,002	15,272	62,130	3,600		81,002	4,045	85,047	310	274		
6年度	18,056 (23)	9,161 (12)	4,563 (6)	48,084 (60)	79,864	13,551	62,528	3,785		79,864	2,970	82,834	310	267		
7年度	70,319 (45)	16,676 (11)	13,837 (9)	53,282 (35)	154,114	45,214	104,854	4,046		154,114	7,647	161,761	308	525		
8年度	59,643 (39)	16,393 (11)	11,056 (7)	64,840 (43)	151,932	26,540	121,886	3,506		151,932	5,593	157,525	311	507		
9年度	62,485 (35)	13,247 (8)	10,137 (6)	91,099 (55)	176,968	20,128	153,889	2,951		176,968	6,940	183,908	310	593		
10年度	58,196 (35)	10,647 (6)	10,426 (6)	89,965 (53)	169,234	15,211	151,195	2,828		169,234	4,945	174,179	312	558		
11年度	59,654 (34)	8,367 (4)	9,952 (6)	97,464 (56)	175,437	12,128	160,724	2,585		175,437	4,810	180,247	295	611		
											2,307,039	104,723	2,411,762			

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷なもので、これほど活版にまみれたものはないと
思っているのです

この（なまなま）の体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力方のできるのも
私たち 人間 ではないのでしょうか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば、と思いこけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第22号

2022(令和4)年8月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住 所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の 3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

印 刷：有限会社 サン・エス

住 所：〒901-1113 沖縄県南風原町字喜屋武380-1

TEL 098-889-7421 FAX 098-888-4383

裏 表 紙：平和祈念公園外観 (有限会社サン印刷提供)

